

事務事業及び予算の執行実績
(令和4年度分)

静岡県立浜松特別支援学校

目 次

事務事業の概要	1
事務執行の根拠法令調	25
学校施設の概要	26
在籍生徒調	32
入学志願者及び入学者数調	36
卒業生の動向調(特別支援学校用)	37
生徒の状況	38
特別支援学校における生産物売払調	44
預金調	49
郵券等受払調	50
材料品受払調	51
委託料等歳出予算執行状況節別集計表	54
委託料に関する調	56
負担金支出調	68
建築工事調	70
公有財産調	74
借地借家等調	76
事務機器等債務負担行為又は長期継続契約に係る調	78
行政財産貸付・使用許可調	80
主要備品調	81

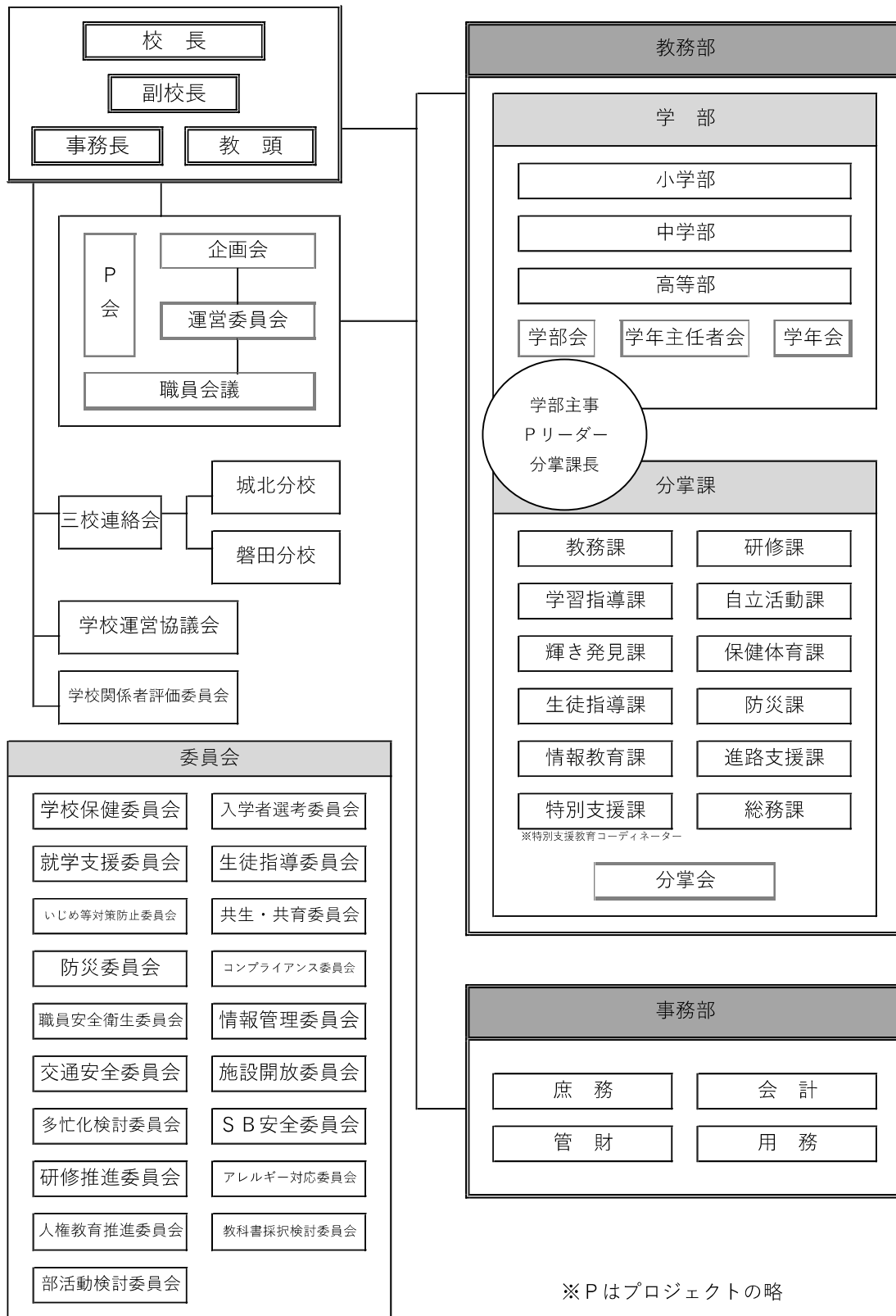
事務事業の概要 (本校)

1 概 況

(1) 学校の沿革

- 昭和 52. 4. 1 新設養護学校設立準備委員会発令
- 昭和 52. 5. 1 用地取得及び造成工事委託 15,581.2㎡
- 昭和 52.12.12 静岡県立浜松養護学校の設置を県議会議決
- 昭和 53. 3.25 第一期工事竣工（鉄筋コンクリート造3階建 2,618.94㎡）
- 昭和 53. 4. 8 開校式・入学式（小学部10学級66人 中学部4学級14人）
- 昭和 54. 3.23 第二期工事竣工（鉄筋コンクリート造3階建 1,784.80㎡）
- 昭和 54. 4. 1 養護学校教育の義務化・訪問教育実施
- 昭和 56. 4. 1 高等部開設（1学年10人）
- 昭和 57. 3.11 第三期工事竣工（高等部鉄筋コンクリート造3階建 771.06㎡）
平屋建（体育館鉄骨造平屋建 500.25㎡） 合併処理槽竣工
- 昭和 57. 8.30 プール完成（FRP製 8×20m 4×8m）
- 昭和 58. 2.15 第四期工事竣工（鉄筋コンクリート造3階建 1,527.06㎡）
- 昭和 58.11.11 校舎施設等落成記念式典
- 昭和 59. 3. 9 高等部第1回卒業式
- 昭和 62.10.21 木工実習室竣工（鉄骨造平屋建147㎡・車庫43.39㎡・渡り廊下
39.94㎡）
- 平成 元. 3.25 高等部生徒昇降口竣工（鉄骨造平屋建16.2㎡）
- 平成 2. 8.31 小・中学部昇降口アーケード竣工（171.7㎡）
- 平成 7. 8.31 防球ネット設置工事竣工（8×47.5m）
- 平成 9.10.31 耐震補強工事（本館）完成
- 平成 10. 2. 7 創立20周年記念式典（フェスタ浜養同時開催）
- 平成 10. 8.31 耐震補強（南館西側）及び内外装の改修工事完成
- 平成 10.12.18 食堂棟改修工事完成
- 平成 11. 3.31 南館（東側）・食堂棟渡り廊下・グラウンド・体育館改修工事等完成
- 平成 15. 4. 1 重複障害児学級1クラスが高等部に認可
- 平成 18. 6.30 仮設校舎（8教室）完成
- 平成 20. 2.22 創立30周年記念式典
- 平成 20. 4. 1 静岡県立学校設置条例の一部改正に伴う校名変更
- 平成 24.10.29 津波避難階段完成
- 平成 25. 3.21 災害用仮設トイレ完成
- 平成 30.11.24 創立40周年記念式典
- 令和 元. 6. 5 全普通教室エアコン設置
- 令和 2. 9. 8 全特別教室エアコン設置

(2) 組織図



2 目指す学校像

(令和4年度)

共生社会の中で「自分らしく力強く生きる人」を育てる

- (1) 主体的・対話的で深い学びを実現する学校
- (2) 命を守り、人権を尊重した安全で安心な学校
- (3) 家庭、地域、関係機関と協働して支援する学校
- (4) 全教職員が主体的に学校づくりに参画する学校

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

令和4年度の取組目標への評価及び成果と課題

ア <授業> 主体的・対話的で深い学びを実現する学校

(個別の教育計画(ア)、授業(イ)、情報教育(ウ)、体の健康(エ))

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
(ア)	つながりのある指導の充実	学習指導要領を元に自立活動等の理解を高め、教育支援計画や指導計画を立案・評価している。	教職員A+B=95% 全教職員で自立活動の流れ図を作成し、実態把握から目標や指導内容を設定する方法を研修した。個別の指導計画は新様式にし、学習指導要領に基づいた目標設定、評価に取り組んだ。	A	学習指導要領の目標や内容を見て目標設定するようになっているが、個に応じた具体的な目標を立てるには、さらに理解を深めていく必要がある。教育支援計画を軸とし、個別の指導計画、自立活動の流れ図を関連させ、適切な目標設定と評価を目指す。
(イ)	国語・算数/数学の充実	学習指導要領の「各教科の目標と内容の一覧」を踏まえ、実態把握→活動の設定→評価をしている。	教職員A+B=91% ラーニングマップの活用により、児童生徒の実態把握ができ、学習指導要領から目標や学習内容を設定することができた。	A	児童生徒の実態把握をした上で、目標設定を行い、学習内容を精選できるようになったが、学習後の評価が課題である。評価を行い、学習指導要領の「各教科の目標と内容一覧」を見返し、次単元へと活かすサイクルの構築を図りたい。
(イ)	合わせた指導の充実	その時期の児童生徒にとっての最良のテーマは何かを考え、合わせた指導の単元を設定している。	教職員A+B=90% 授業づくりの話し合いや事後検討会で「最良のテーマ」という言葉が出てくるようになった。小学部生活単元学習、中学部、高等部作業学習では、最良のテーマは何かを考えた単元の設定ができた。	A	事前に「最良のテーマ」について検討した授業づくりが行われるようになった。一方で最良のテーマについての捉えが様々であった。児童・生徒が主体的に活動し、資質・能力が育まれる授業づくりができるよう、「最良のテーマ」についての共通理解を深め、事前検討を充実させる。

(ウ)	I C T の効果的な活用	I C T を活用して、児童生徒の主体的な学び・対話的な学び・深い学びを実現できてきた。	教職員 A+B=88.4% iPad、chromebook、モニター等 ICT を利用した授業を行うことが増えた。	B	個別に対応した ICT 機器やアプリ等を利用して授業を行うことで、主体的、対話的、深い学びへつなげる。
(エ)	基礎体力の向上	児童生徒は、各部位の多様な動かし方を知り(慣れ)、走る、投げる、跳ぶなどの記録が向上した。	教職員 A+B=82% 体の適切な使い方の指導、支援具の活用、目標の設定、視覚的賞賛により、記録の向上につながった。その反面、新型コロナウイルス感染症対策のため、人数や場所等の調整を行い、運動量が確保できなかった。	B	個別に対応した授業の組み立てや記録を取るなどをしたことで、もっと頑張ろうという児童生徒の姿勢が見られた。 年計の照らし合せ、活動場所や使用する道具の調整を行い、運動量や学習内容の充実を図る必要がある。

イ <安全> 命を守り、人権を尊重した、安全で安心な学校

(コロナ対応(ア)、地震防災(イ)、健康な学校生活(ウ)、人権等(エ))

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
(ア)	感染予防の徹底と工夫	児童生徒は、マスクの着用、手洗い、消毒等、感染予防への意識が高まり習慣化してきている。	教職員 A+B=98.5% 保護者 A+B=96% 継続的な指導や視覚的支援より、マスクや消毒など自分から気付いて行うことができた。	A	手洗いチェックや飛沫の飛び方の動画など、視覚的支援具などを活用したことで、距離間を保とうとする姿が見られた。引き続き声掛けを継続し、手洗いや消毒、マスクの必要性を意識できるようにする。
(イ)	発災時の対応力強化	職員・児童生徒は、発災時の基本的な対応を理解し、とるべき行動がとれている。	教職員 A+B=98.5% 一次避難、二次避難ともに安全に素早く行動することができた。	A	南館の避難階段の混雑解消、点呼終了までの時間を短縮したい。マニュアルにとらわれずに、状況を見て安全に行動できるよう、引き続き繰り返しの訓練を継続していく。
(ウ)	事故防止と健康管理の徹底	ヒヤリハットから学び、危機管理マニュアルを理解するなどして、安全・健康を守っている。	教職員 A+B=99% 危機管理マニュアルを理解したうえで、ヒヤリハット報告があった際は、常に自分にも起こりうることに捉えて行動することができた。	A	児童生徒の動きからヒヤリハットを想定したり、日頃から教員間の役割を確認して学校生活を送ったりすることを心掛けることができた。 個人によって意識と感覚が違うので、継続してヒヤリハット報告の必要性を年度初めに危機管理マニュアル説明会で伝えていく。

(ウ)	安全・快適な環境づくり	安全で快適な環境を実現するため、不要品の適切な廃棄、再利用、整理整頓を続けている。	教職員A+B=97.1% 施設設備の課題の洗い出しや適切な廃棄処理を行ったことで、安全な学習環境づくりをすることができた。	A	不用品の廃棄、教材教具の整理整頓への意識が高まってきている。しかし、清掃習慣の育成には、更なる取り組みが必要と考える。安全点検のダブルチェックや清掃週間を設けて環境整備への意識改革を目指す。
(エ)	人権等への徹底した配慮	人権、ハラスメント、個人情報保護等についての学びや外部評価を生かし、日々心掛けている。	教職員A+B=98% 保護者A+B=95% 人権研修や人権アンケートを実施し、日々の取り組みや自分の言動を振り返り人権意識を高めることができた。保護者アンケートでは、人権が守られていると感じる保護者が95%であるが、教員の言動に不安を感じる保護者がいた。	A	人権研修や人権の自己振り返りのアンケートを実施したり、掲示板で随時訴えたりすることで人権の配慮を行うことができた。人権意識の差があるので、人権尊重に関する話題を定期的にあげて自分を振り返り共有できる場やときを設定していく。保護者アンケートの結果を謙虚に反省し、第三者が見聞きしても、自分の言動は大丈夫と全職員が思えるよう人権意識を向上する必要がある。
(エ)	あいさつの徹底	職員・児童生徒のあいさつや「ありがとう」などの言葉が自然と飛び交う学校である。	教職員A+B=92.7% 保護者A+B=95% 教師が率先して挨拶することで、児童生徒から挨拶できる場面が増えた。	A	一部の職員が「挨拶を返さない」という指摘が、職員と保護者から挙げられた。この指摘を真摯に受けとめた。 「いつでも、どこでも誰にでも」挨拶をするという意識をさらに高める必要がある。

ウ <協働> 家庭、地域、関係機関と協働して支援する学校

(地域等との交流(ア)、機関連携・支援(イ))

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
(ア)	地域とのつながりの強化	児童生徒は、多様な交流活動により、人と活動を共にしたり、楽しんだりできる場面が増えてきた。	教職員A+B=81.3% コロナ禍で予定通り行うことができなかったが、直接交流の場では児童生徒の主体的に活動したり関わったりすることができた。	B	積極的に児童生徒が多様な交流活動を行うことができるような活動内容や場面をすることで、人と触れ合い、楽しむことができていく。コロナ禍でできる活動の工夫や配慮を検討し、関わり合うことができる場を設定していく。

(イ)	学校への応援体制の構築	地域の物・こと・人といった資源を活用して、地域で学ぶ、地域に認められる活動を設定している。	教職員A+B=67.9% 学校間交流や地域探検活動等、コロナ禍で実施できなかった活動があった。各学部で地域と関わったり、地域へつながる活動に取り組んだりしたが、認められているという実感につながる活動は少なかった。	C	活動の機会は少なかったが、CS担当や学校運営協議会委員のコーディネートにより、新たに地域学習の場が増えた。地域に本校の教育を知ってもらう機会を設定し、地域学習の場を広げていく。
(イ)	連携体制の再構築	児童生徒の安全と健やかな成長のため、学校だけで抱え込まずに関係機関と連携している。	教職員A+B=93.5% 問題行動や困ったときに関係機関（児相、相談支援事業所など）と支援会議を行ったり、情報共有したりすることで連携することができた。	A	関係機関との連携が取れ、情報共有や支援の共通理解が図られている一方で、連携を取ることが難しいケースがある。関係機関との連携の現状把握や連携方法の対応について検討していく。
(イ)	進路指導の充実	希望する進路先をイメージして、個に応じた指導、支援、保護者への説明ができています。	教職員A+B=76.1% (高97.5中83.3小47.5) 全体及び学部ごと研修機会を設定することで、個に応じた支援、保護者への説明ができる環境づくりに努めた。小学部は進路先をイメージすることが難しかった。	B	課内での連携や映像等の活用は効果が高かった。小学部段階から、卒業後のイメージを高められるような取り組みを今後は検討していきたい。

エ <チーム> 教職員が連携し効率よく運営する学校

(新たな浜特の創造(ア)、教職員の連携(イ)、法令の遵守(ウ))

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
(ア)	指導の在り方働き方の改革	指導や働き方等、これまでを見つめ直すことを心掛け、今まで以上の効果と効率を追求している。	教職員A+B=87.7% 学習活動や指導体制の工夫、業務の見直し等を行い、児童の主体的な活動を促したり、教員の計画的な事務処理時間の確保や効率的な会議の運営、業務を理解して動ける状況づくりに努めたりした。	B	五つの改善の視点から業務の見直しを常に行うことで、今まで以上の効果と効率を追求した。さらに、業務の分かりやすさや相談しやすい状況づくりに継続して取り組み、誰もが安心して働ける環境づくりを行っていききたい。
(ア)	時間外勤務の縮減	残業時間45H/月360H/年以内、定時退庁日の最終施錠17時15分	12月までに残業時間が45H/月を複数月超える職員は全体の5% 12月までに残業時間の総数が270時間を超える職員は全体の9% 書く学部職員室の最終施錠時刻は、定時退庁	B	水曜日は定時退庁日という考え方が定着した。 残業時間45H/月以内で納めようという意識が高い。次年度は、360H/年以内の意識をさらに高めた

			日の8割が17時15分までに施錠できた。		い。 業務の削減を進めてきたが、業務量の多さや偏りについてが課題として挙げられた。学部業務や分掌業務、学年業務など全体を見渡した役割分担を意識したい。
(イ)	他学部の理解	NES、授業参観、作品・作業製品の展示等により他学部を知ることができている。	教職員A+B=77% コロナ禍で直接授業参観することができなかったが、校内の掲示、作品展示から他学部を知ることができた。	B	校内掲示や学習指導課だよりで他学部を知る機会を作ることができた。コロナ禍により他学部への授業参観は行わなかった。来年度はNESをさらに活用し、授業参観を呼び掛ける。
(イ)	老朽化・狭隘化への対応	安全・安心・快適な学習環境を作るため老朽化・狭隘化への対応を計画的かつ迅速に進めている。	校内巡視により課題を検討するとともに、プロジェクト会と連携し校内の要望を反映した学校経営予算の柔軟な運用、県への予算申請をすることができた。	B	プロジェクト会と連携し不用品の廃棄や物品の整備のための予算確保、執行に努めたことで快適な学習環境に近づいた。施設の老朽化に対しては、予算要求した工事が執行されたことで懸案のうち何件かが改善された。今後も老朽化、狭隘化について引き続き要望していく。
(ウ)	倫理観の向上	加害となる交通事故0件	職員会議や掲示板、職員玄関の掲示等で事故防止を呼び掛けたが、加害となる事故が3件発生した。いずれも退勤して帰宅する途中の事故であった。	C	2学期に事故が立て続けに発生した。引き続き、個々の意識を向上するための呼び掛けを継続するとともに、疲労感やストレスを感じやすい時期の手立てを講じる必要がある。

4 監査対象期間における特色ある取組

年度	取組概要	成果及び課題
令和4年度	指導や働き方について、「続ける-始める-やめる-変える-減らす」の五つの視点から見つめ直すことを心掛け、これまで以上の効果と効率を追求する。	五つの視点から業務の見直しを常に行うことで、今まで以上の効果と効率を追求できた。 今後もこの視点から指導や働き方を見直し、指導の効率化と安心して働ける環境づくりに努める。

5 教職員について

(1) 令和4年度異動状況（本校）

区分	本務職員												
	校長	副校長	教頭	事務長	教諭	養護教諭	栄養教諭	主査	主任	主事	技能長	小計	
本校	転出者			1		20			1		(1)		23
	退職者		1			5							6
	転入者					18			1				19
	新任者		1	1		7				1			10
	再任用者												0
	差引増減	0	0	0	0	0	0	0	0	1	△1	0	0

区分	臨時職員				会計年度任用職員				合計	
	任期付教諭	臨時教諭	臨時栄養教諭	任期付短時間勤務教職員	実習支援指導員	実習支援員	非常勤労務職員	スクールカウンセラー		
本校	転出者	1	1			1				26
	退職者	4	6					3		19
	転入者									19
	新任者	1	5	1	1		1	2		21
	再任用者									0
	差引増減	△4	△2	1	1	△1	1	△1	0	△5

(2) 現員数

(令和5年4月1日現在)

区分	本務職員											
	性別	校長	副校長	教頭	事務長	教諭	養護教諭	栄養教諭	主査	主任	技能長	小計
本校	男	1				38			1		1	41
	女		1	1	1	77	2	1	1	1		85
	計	1	1	1	1	115	2	1	2	1	1	126

区分	臨時職員				会計年度任用職員				学校医	小計	合計
	性別	任期付教諭	臨時教諭	臨時栄養教諭	任期付短時間勤務教職員	実習支援員	非常勤労務職員	スクールカウンセラー			
本校	男	4	5			1	5		8	23	64
	女	5	7	1	1		6	1	0	21	106
	計	9	12	1	1	1	11	1	8	44	170

(3) 健康管理について

健康管理の徹底

- ア 定期健康診断の結果、要精密検査、再検査の職員に対し、確実に受診するよう指導した。
- イ 教職員の健康講座は、「ピラティス」や「自力整体」の講座を開催し、体を動かすことの大切さについて学んだり、「アンガーマネジメント」の講座を開催し、怒りの感情と上手に付き合う方法を学んだりして、教職員が心身の健康に向き合うきっかけを作ることができた。
- ウ 校内委員による職員安全衛生委員会を毎月実施し、教職員の健康状態の把握に努めたり、職場環境について協議したりし、労働環境の改善に努めた。

(4) 教職員の研修について

(令和4年度)

目 的	研修内容及び成果	課 題
合わせた指導の授業力向上	児童・生徒のその時期における「最良のテーマ」は何かを考える単元づくりの研修に取り組んだ。単元の着想段階から、アドバイザーが参加し「最良のテーマ」は何か検討した。また、学部研修の時間を話し合いの場とし、年間を通して検討する時間を確保した。このように研修したことで、テーマを基に単元を考えた授業づくりをすることができた。	最良のテーマを基に、児童・生徒が夢中になって取り組む学習課題（成就したいこと・解決したい課題や問い）を考えた単元づくりをする必要がある。

6 防災対策について

(1) 地震対策

- ア 様々な災害の状況に対応できるよう、地震または地震・津波を想定した児童生徒を対象とする校内での避難訓練を年5回実施し、災害が起きたときの具体的な避難の仕方を理解させた。
- イ 浜松地区特別支援学校間ネットワーク無線の運用を継続し、登下校時スクールバス運行中の災害発生時に、本校と無線が繋がらない区間の中継について他の特支校との連携を確認することができた。
- ウ 災害備蓄品の見直しを行い、家庭への負担を軽減した。令和5年度購入分より児童生徒個人で2日分、共同購入で3日分とした。
- エ 気象情報、避難情報への対応について、气象台、浜松市危機管理監を招いて学習会を行った。注意報、警報の発令される地区や警戒レベルが発令されるまでの流れを知ることで本校の対応について、見直しを行うことができた。
- オ 災害用伝言ダイヤル利用訓練や地域防災訓練参加アンケートをCOCOOアンケートで実施した。回答率が7割程度であったため、他の連絡手段とあわせて行うなど、今後の活用について検討していきたい。

(2) 防災訓練

- ア 様々な災害の状況に対応できるよう、年間8回の避難訓練を実施し災害が起きたときの具体的な避難の仕方を理解させた。
- イ 学校防災計画に従い、火災予防に万全の注意を払い、非常口付近の物を撤去した。児童

生徒の安全と校舎その他施設設備の保全に努めている。

年度	月 日	訓 練	訓練内容	参加者数
4	～4.30	地震・津波	教室からの避難経路の確認（学年、学級）	390人
	5.19	地震・津波	地震発生時の1次避難と2次避難	398人
	6.16	風水害	警戒レベル3発表時の避難と下校	297人
	7.14	地震・津波	地震発生時の1次避難と2次避難	318人
	9.21	火災	火災発生時の運動場への避難	341人
	10.14	地震・津波	地震発生時の第一次避難と第二次避難	338人
	11.4	地震・津波	地震発生時の第一次避難と第二次避難（予告なし）	393人
	1～2月	Jアラート	Jアラート発令時の動き確認（掲示板で書面伝達）	144人

7 学校開放について

地域の社会活動、文化活動、スポーツ活動その他の生涯学習活動の振興のため施設等の開放を実施した。

（令和4年度）

（令和5年3月31日現在）

開放施設	期間 日数	参加利用 者 数	講 座 ・ 教 室 名	受講料	利用者負担金 (電気料金)
視聴覚室	未実施	—		—	—
音楽室	未実施	—		—	—
体育館	1日	10人	A Lus do sol フットサル	—	—
運動場	16日	658人	白脇サッカースポーツ少年団 練習	—	—
	7日	177人	浜松フューチャーズ野球少年団 練習	—	—
	未実施	—	静岡県パラ陸上競技協会 練習	—	—
	8日	165人	浜松FDフライングディスク協会	—	—
	7日	42人	静岡県警察	—	—
	1日	10人	アレスグード	—	—
計	40日	1,062人			

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、室内の開放は実施しなかった。

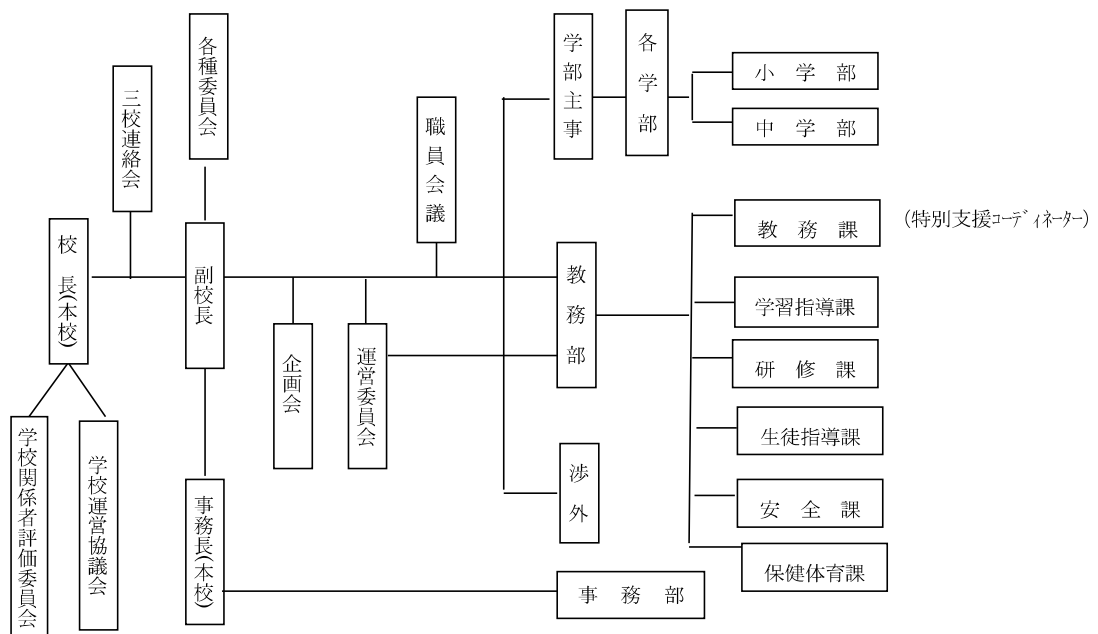
事務事業の概要（磐田分校）

1 概 況

(1) 学校の沿革

- 昭和 30. 4. 20 浜名寮内特殊学級を開設し義務教育を開始
- 昭和 36. 7. 2 磐田学園内特殊学級開設
- 昭和 42. 2. 1 学習指導棟(3教室)増設
- 昭和 46. 9. 28 学習指導棟(2教室)増設
- 昭和 54. 4. 1 養護学校義務制の発足に伴い、浜松養護学校磐田分校開設
- 昭和 56. 3. 2 磐田分校校舎完成（鉄筋コンクリート造2階建 1,571.02 m²）
- 昭和 63. 5. 2 創立10周年記念式典
- 平成 7. 5. 31 アスレチック完成
- 平成 10. 5. 1 創立20周年記念式典
- 平成 20. 4. 1 静岡県立学校設置条例の一部改正に伴う校名変更
- 平成 20. 5. 30 創立30周年記念式典
- 平成 30.10.19 創立40周年記念式典
- 平成 31. 3. 14 磐田学園新築工事に伴うアスレチック撤去
- 令和 元. 7. 2 全普通教室エアコン設置
- 令和 2. 9. 11 全特別教室エアコン設置

(2) 組織図



2 目指す学校像

本分校は、知的障害児施設「静岡県立磐田学園」に併設された知的障害特別支援学校である。在籍児童生徒がすべて施設に入所していることから、本分校では関係諸機関との連携の下、児童生徒の心のケ

アに重点を置きながら、学校教育目標の実現に向け以下のような学校を目指す。

(令和4年度)

共生社会の中で「自分らしく力強く生きる人」を育てる

- (1) 主体的・対話的で深い学びを実現する学校
- (2) 命を守り、人権を尊重した、安心して安全な学校
- (3) 磐田学園、児童相談所または家庭及び地域等の関係機関と協働して支援する学校
- (4) 教職員が連携し、効率よく運営する学校

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

(1) 令和4年度の取組目標への評価及び成果と課題

(A:十分目標を達成することができた B:おおむね目標を達成することができた C:あまり目標を達成することができなかった)

ア〈授業〉主体的・対話的で深い学びを実現する学校

(個別の教育支援計画(ア)・授業(イ)・ICT活用(ウ)・体の健康(エ))

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
(ア)	つながりのある指導の充実	教育支援計画の長期目標から年間重点目標を作成し、日々の授業の目標とつなげて指導、評価ができた。	A+B評価 100% ・各計画、目標の作成意義を伝え、検討時間を十分とれるようにした。 ・目標の設定において実態や社会スキルを共通理解し実践した。	A	個別説明会を開いたことで、長期目標・年間目標・日々の授業の目標の流れを理解し、話し合いをしたり活動を考えたりできた。 児童生徒も年間重点目標を意識し自己評価できるようになるといい。
(イ)	授業力の向上	児童生徒の実態を多面的、総括的に捉え、授業を組み立てている。	A+B評価 95% ・校内授業研(定期訪問含む)を各学部年間2回実施 ・年間2回以上の校内学習会、研修会を実施した。	A	助言者や他学部、他ブロックの先生方からのアドバイスを指導に生かすことができた。 磐田分校ならではの研修会・学習会(愛着障害について、学園職員を講師とした研修会等)を実施し、児童生徒の課題の背景にある部分を共通理解して、授業作りを行うことができた。
		学習指導要領の「各教科の目標と内容の一覧」を踏まえ年間指導計画を作成し、実践、評価をしている。	A+B評価 95% ・国語算数(数学)は、「各教科の目標と内容の一覧」と照らし合わせ、検討した。	A	「各教科の目標と内容の一覧」を確認する機会となった。 この取組を通じて学部職員で個々の国語算数(数学)の目標の確認ができた。来年度も継続していく。

(ウ)	ICTの効果的な活用	ICT機器を活用した授業づくり、児童生徒個々の学びの段階に応じたアプリを取り入れ授業で活用した。	A+B評価 95% ・アプリの紹介や電子黒板とプロジェクターへのつながり方の講習会を実施した。ネット環境の改善のため、本校情報担当者と連携して改善方法を検討した。	A	ipadや電子黒板など、ICT機器を授業で活用することができた。 「ギガスクール運営支援センターポータルサイト」を利用するなどして、磐田分校の児童生徒にとって効果的な活用例を共有していきたい。また、iPadの利用について正しい知識を伝えていくことが課題である。
(エ)	児童生徒の体や健康への知識向上	児童生徒は自分の健康や性についての知識（わかること）が増えた。	(児童生徒) A+B評価 90% ・各クラスで計画を立てて、発達段階や生活年齢に合った健康指導と性教育を行った。	A	養護教諭と連携を図り実態に即した授業を行った。 来年度も計画的に実施していくが、児童生徒の理解力や性への知識の程度に合わせた授業や指導を年間計画に位置付け指導していく。

イ〈安全〉命を守り、人権を尊重した、安全で安心な学校
(感染症対策(ア)・防災(イ)・健康で安全な学校生活(ウ)・人権(エ))

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
(ア)	感染予防の徹底	新型コロナウイルス感染症対策を常に考えて授業づくりや指導、支援ができた。 児童生徒は感染症予防の大切さを理解し、対策が習慣化した。	A+B評価 100% ・感染症対策を徹底して指導を行った。 (児童生徒) A+B評価 90% ・手洗い、消毒やマスク着用が習慣化した。	A	教員は「磐田分校の新しい生活様式」を毎月確認しながら高い意識を持って取り組んだ。授業の中での人との距離が課題ではあったが、注意を払いながら指導にあたることができた。引き続き取り組んでいく。
(イ)	命を守る緊急時対応力の向上	緊急時の対応についてマニュアルの理解に努め、避難誘導等、とるべき行動がとれる。 児童生徒は身近な危険から自分の身を守ることや、取るべき行動を理解している。	A+B評価 100% ・非常災害訓練の毎、危機管理マニュアルを全職員で見、役割等確認を行った。 ・交通安全教室を2回実施した。校外学習でも交通ルール等を守り活動できた。	A	様々な災害を想定した訓練を年5回実施した。その都度、危機管理マニュアルを確認したことは有意義だった。児童生徒は体験を積み重ね、身を守る行動が身についた。 今後も、様々な災害や状況を想定した取組を計画的に推進していく。また、児童生徒についても、危険から身を守る行動がとれるよう年間を通じた指導を進めていく。

(ウ)	安全・快適な環境づくり	児童生徒と教員は、安全で快適な環境を実現するため、清掃活動、ごみの分別、教材等の整理整頓を続けている。	A+B評価 90% ・毎月の安全点検を通して、校内の環境整備状況や環境の安全性を確認した。	A	安全点検を行い、修繕すべき箇所は迅速に対応した。 学級活動等で身の周りの整理整頓の指導を行った。ごみ捨てについても、全校で共通理解を図り、指導を行ったところ、ルールに従ったごみ出しができるようになった。 引き続き、安心安全な教育環境を維持できるよう取り組んでいく。
(エ)	人権に配慮した指導の徹底	人権教育や教員からのハラスメント防止等を日々心掛け指導した。	A+B評価 89% ・磐田学園と連携し児童生徒への聞き取り実施した。 ・各クラス毎及び人権擁護委員による人権授業を年2回実施した。 ・教員への人権感覚自己チェックを毎月実施した。 ・外部講師によるアンガーマネジメント研修を行った。	B	児童生徒の人権を守り、人権に配慮した授業や指導を行うことに日々取り組んだ結果、児童生徒への聞き取りにおいて、教員からのハラスメントは0件だった。 来年度、児童生徒への聞き取り方法の改善を図りたい。 人権授業では、中学部生徒へのスクールロイヤーを活用し「法や決まり」を意識できる授業を依頼したい。

ウ〈協働〉磐田学園、児童相談所、家庭及び地域等と協働して支援する学校
(地域との交流(ア)・機関連携(イ))

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
(ア)	地域とのつながりの充実	児童生徒は、多様な交流活動により、人と活動を共にしたり、楽しんだりできる場面が増えてきた。	(児童生徒) A+B評価 100% ・自治会の方、学区の小中学校、地域の方々との交流活動を実施した。	A	地域のひょうたん池友の会や楽寿荘の方との交流を年間を通じて複数回実施した。結果、活動を楽しみにしたり、名前を覚えて呼び合ったりと互いに交流活動を期待したり楽しんだりする姿が多くみられた。 今後も相手のニーズや児童生徒の実態に応じた継続的なつながり活動ができるように交流内容等検討していく。

(イ)	学校への応援体制の構築	磐田分校の教育活動を理解し応援する「磐分応援団」を設置し、児童生徒との活動を設定できた。	<ul style="list-style-type: none"> ・「磐分応援団」募集のチラシを作成し、関係する方に配布した。 ・各学部で計画的に活動を設定できた。 	A	読み聞かせや交流などに関わる方に「磐分応援団」としての協力依頼を行い、年間を通して一緒に活動することができた。今後も磐田分校を応援して下さる方々との活動を広げていきたい。
(ウ)	磐田学園、児童相談所、専門職との連携と活用	児童生徒を中心に関係者が連携しあいながら、自立や進路に向けた取組を推進した。	A+B評価 100% 学園の評価 100% <ul style="list-style-type: none"> ・学園との合同ケース会及び進路について検討する移行支援会議を年3回実施した。 ・児相を含めた関係者会議も全員実施し支援や指導の確認を行った。 	A	それぞれの会議、参観週間とも有意義だったと答える教員、職員が多かった。来年度も学校、学園の担当者同士が連絡を密に取り合い、関係機関と連携を取り合えるよう努める。
		専門職のアドバイスを指導や支援に活用した。	A+B評価 84% <ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラー、言語聴覚士、学園の心理担当職員を活用し指導に生かした。 	B	今年度より専門職との連携する取組を始めた。専門家の視点から児童生徒を見て助言頂いた事は大変参考になった。来年度も継続して活用を図り連携を深めたい。

エ〈チーム〉全職員が主体的に学校づくりに参画する学校

(職場改善(ア)、法令順守(イ))

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
(ア)	明るい職場づくり	同僚性・働き方等、明るい職場づくりへの意識が高まり、働きやすいと感じた。	A+B評価 61% <ul style="list-style-type: none"> ・同僚性を高める研修は2回実施。 ・授業作りや指導においてコミュニケーションに擦れ違いが生じ疲弊感や働きにくさを感じる職員が複数生じた。 	C	コミュニケーションを大切にしたいという意識をもち、不祥事0を目指して取組み目標を達成できた。引き続き、教育公務員として
(イ)	倫理観の向上	ハラスメント0件、加害交通事故0件、情報漏えい及び個人情報侵害0件	100% <ul style="list-style-type: none"> ・全職員に対し、定期的にハラスメントや交通安全等 	A	教育公務員という意識をもち、不祥事0を目指して取組み目標を達成できた。引き続き、教育公務員として

	を目指した。	不祥事根絶について働きかけ資料提供を行った。	の意識をしっかりと持ち職務にあたることができるよう不祥事0を目標にしていく。
--	--------	------------------------	--

4 監査対象期間における特色ある取組

年 度	取 組 概 要	成 果 及 び 課 題
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の児童生徒は、全員が併置している磐田学園に入所している。 ・磐田学園に入所した家庭環境や障害特性について、磐田学園や児童相談所等と児童生徒の目標や課題を確認し合い、指導及び支援の連携を図る。 	<p>磐田学園とは、日々の情報交換を丁寧に行った。</p> <p>児童生徒の学園担当者と担任とで、目標や課題を確認しあう合同ケース会を年3回行い、情報を共有したり指導について共通理解を図ったりすることができた。</p> <p>また、児童相談所と学園担当者、担任での連絡会では、家庭の状況や今後の進路についてなどを検討しそれぞれの役割を確認した。</p> <p>課題は、役割分担をして取り組んでいるが、解決しなければならない事が起きた時にいかに迅速に対応できる関係を築いてくことと考えている。</p>

5 教職員について

(1) 令和4年度異動状況（磐田分校）

区 分	本務職員						臨時職員		会計 年度 任用 職員	合 計
	副校長	教諭	養護教諭	主任	主事	小計	任期付教諭	臨時教諭	非常勤 労務 職員	
磐田分校	転出者			1		1				1
	退職者		2			2		1		3
	転入者		3			3		1		4
	新任者					1	1			2
	再任用者						0			0
	差引増減	0	1	0	△1	1	1	1	0	0

(2) 現員数

(令和5年4月1日現在)

区分	種別	本務職員					臨時職員		会計年度 任用職員	学校医	小計	合計
		副校長	教諭	養護 教諭	主事	小計	任期付 教諭	臨時 教諭	非常勤 労務職員			
磐田 分校	男		6		1	7		1		5	6	13
	女	1	11	1		13	1	1	2	1	5	18
	計	1	17	1	1	20	1	2	2	6	11	31

(3) 健康管理について

ア 健康管理の徹底

- (7) 定期健康診断・生活習慣病検診の受診の徹底を図り、疾病の早期発見に努めた。再検査等が必要な者には早めに受診することを働きかけた。
- (4) 職員安全衛生委員会を毎月開催し、学校職員の労働環境について話し合ったり、学校医から定期健康診断等の結果について分析や助言をいただいたりして健康管理への意識高揚を図った。
- (9) 腰痛検診を実施して、自己管理の促進を図った。
- (エ) メンタルヘルスチェックを実施して、精神面での自己管理の促進を図った。

(4) 教職員の研修について

(令和4年度)

目 的	研修内容及び成果	課 題
心のケアを必要とする児童生徒が自分で考えたことを伝え、主体的に活動する姿に視点をあてた授業づくりを行う。	<ul style="list-style-type: none"> 各教科等を合わせた指導を窓口として研修の仮説を立て、助言者を招聘した授業研究を行い、研修を深めることができた。 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善において、4つの視点をういて児童生徒の姿を想定しながら授業づくりを行い、主体的に活動する姿を多く引き出すことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の良さを生かし、集団の場で力を発揮できる姿を引き出せる授業づくり。 心のケアを必要とする児童生徒についての研修は継続。

6 防災対策について

(1) 地震等の対策

- ア 災害時における児童生徒の生命等の安全を守るため、速やかに併設施設(磐田学園)との連携の下に合同の自主防災組織を立ち上げることとなっている。そのため、「磐田学園災害時等危機管理マニュアル」と連動する形で「磐田分校危機管理マニュアル」作成し、毎回、磐田学園と連携して避難訓練を実施している。
- イ 災害の恐ろしさや素早く自分を守ること、友達や先生の命を守ること等の大切さとその方法について、避難訓練の事前・事後学習を通じ児童生徒に繰り返し指導している。
- ウ 児童生徒全員分の1週間分の飲料水・非常食糧・毛布・着替え等については磐田学園で用意し保管している。
- エ 防災週間を設定し、各学級で計画的に、児童生徒に地震や火災等から身を守る指導等を行っている。

(2) 防災訓練

学校防災計画に従い、児童生徒の安全と校舎その他施設設備の保全に努めている。訓練前には目標を児童生徒に伝えるとともに、命を守るための行動確認を繰り返し行う。訓練後は児童生徒には取組の振り返りを行い、教職員委はアンケートで振り返り及び問題点の洗い出しを行っている。

年度	月日	訓練	訓練内容	参加者数
4	4.21	地震想定避難訓練	避難経路や方法の確認 学園・学校間の連絡方法を確認	60人
	6.16	火災想定避難訓練	避難経路や方法の確認 学園・学校間の連絡方法を確認 煙体験	60人
	9.15	大規模地震想定訓練	避難経路や方法の確認 学園・学校間の連絡方法を確認 原子力災害発生時の対応確認	60人
	10.15	地震、火災避難訓練 (予告なし)	昼休み中の地震発生想定訓練 避難経路や方法の確認 通報訓練	60人
	2.6	火災避難訓練 (予告なし)	避難経路や方法の確認 初期消火訓練 通報訓練 抜き打ち訓練	60人

7 学校開放について

実施していない。

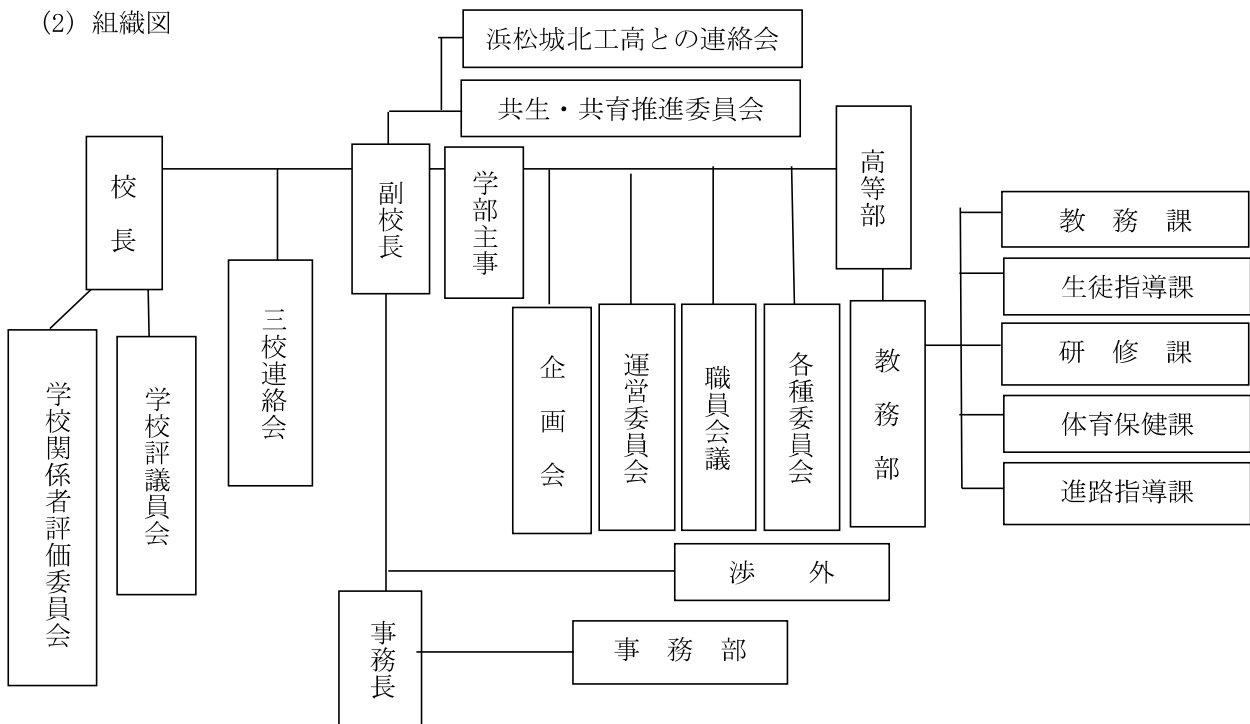
事務事業の概要(城北分校)

1 概況

(1) 学校の沿革

平成 22. 5. 26	浜松特別支援学校分校設置準備委員会発足
平成 23. 4. 1	静岡県立浜松城北工業高等学校内(浜松市中区住吉五丁目16番1号)に 静岡県立浜松特別支援学校城北分校(高等部)開校 入学定員18人
平成 23. 4. 6	開校式及び第1回入学式を挙行 入学生17人(2学級)
平成 26. 3. 11	第1回卒業式挙行 卒業生15人(2学級)
平成 26. 3. 30	駐輪場設置
平成 31. 2. 20	全普通教室エアコン設置
令和 2. 10. 13	全特別教室エアコン設置
令和 3. 11. 12	創立10周年

(2) 組織図



2 目指す学校像

本分校は、県立浜松城北工業高等学校の敷地内にある高等部単独の分校である。「地域で学び 夢を拓く キャリア教育」を教育方針に据え、比較的軽度の知的障害の生徒を対象に、職業教育の充実や高校、地域との共生・共育を推進しながら、学校教育目標の実現に向け、以下のような学校を目指す。

(令和4年度)

共生社会の中で「自分らしく力強く生きる人」を育てる

- (1) 主体的・対話的で深い学びを実現する学校
- (2) 命を守り、人権を尊重した、安全で安心な学校
- (3) 家庭、地域、関係機関と協働して支援する学校
- (4) 全教職員が主体的に学校づくりに参画する学校

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

ア <授業> 主体的・対話的で深い学びを実現する学校

(個別の指導計画(ア)、授業(イ)、ICT教育(ウ)、豊かな学び(エ))

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
(ア)	働く意欲を育む個に応じた目標設定と支援の充実	教員が生徒の働く意欲を育むことにつながる個別の指導計画の目標を達成する	教員が生徒の個別の目標に迫る授業を進められるようになってきている。	B	○生徒が主体的に職場実習先、進路先を選定することができた。 ●授業改善を図り、更なる意欲向上につなげる。 ○個別の指導計画について、目標設定、評価方法について教師の共通理解の機会を設けたり、検討期間を設けたりすることで、教師が生徒の個別の目標を目指す授業を進めることができた。 ●個別の目標設定、評価方法についてさらに共通理解を図る。
(イ)	実態や特性に応じるための授業力・専門性の向上	教員が生徒にとって主体的・対話的で深い学びとなる授業を実践できる	評価規準を設定した授業を実践することができるようになり、授業改善へとつながった。	B	○「単元目標・評価シート」を活用して、規準、手立てを考えた授業を行い、授業後の評価を次単元の授業改善に繋げることができてきた。 ●自立活動や学習指導要領の学習会等を重ね、専門性を高めていく。
(ウ)	ICT教育の充実	生徒・教員が学校生活全般で情報機器を日常的に活用できる	生徒が授業で一人一パソコン (iPad) を日常的に活用することができた。	A	○インターネット環境の改善や情報機器の紹介を随時行い、授業での日常的活用が進んだ。 ●パソコン室の整備を進めて、授業でより活用しやすくする。
(エ)	生活を豊かにする学びの提供	生徒が興味や関心を広げ、学んだことや経験したことを発信できる	作品展へ参加したり、授業で学んだことを発表したりすることができた。	A	○クラスでスポーツ大会の紹介をしたり、美術作品展への出品をしたりすることで、興味や関心を広げ、作品展やスポーツ大会へ参加することができた。 ●生徒が目の前の方に集中できるように学校行事を精選する。

イ <安全> 命を守り、人権を尊重した、安全で安心な学校

(コロナ対応(ア)、人権(イ)、安全な学校生活(ウ)、地震防災(エ))

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
(ア)	新型コロナウイルス感染予防の徹底	校内クラスター発生0	校内でクラスターは、発生しなかった。	A	○毎日の健康観察、定期的な換気など、基本的な感染症予防に取り組むことで、校内クラスターを防ぐことができた。 ●ソーシャルディスタンスの取り方については、今後も指導が必要。

(イ)	自分も相手も大切に する教育の 充実	相手の立場や気持ちを尊重して、人と関わることができる	生活の中で、相手の立場を尊重した言動が出来るようになった。	A	○ジョブニャンサミットでは、自分の意見を伝えることや相手の意見を聞き入れ学校のルールについて話合う機会を作ることができた。 ○人間関係作り講座では、外部講師の授業や研修を実施し、生徒や教員が人間関係を円滑に進める実践を行うことができた。 ●授業実践の情報共有ができる と良い。
(ウ)	安全教育の 充実	生徒の重大事故0	重大事故の発生を防ぐことができた。	A	○ヒヤリハット報告を行うことで、事故の検証を行い、授業改善をすることができ、重大事故を防ぐことができた。引き続き、ヒヤリハット報告を行っていく。
(エ)	大規模地震発生時の避難と避難生活を想定した計画の充実	生徒・教員が避難訓練時に自分で判断して行動することができる	避難訓練では、生徒が自分で判断して行動し、安全に避難することができた。	A	○PTA防災部の研修で、保護者への避難生活の理解促進を行った。 ○年度始めのマニュアル確認ができた。 ●引き渡しの実施による、課題検討や引き渡しカードの見直し ●生徒が自分で判断するための防災学習の時間を増やしていく。

ウ <協働> 家庭、地域、関係機関と協働して支援する学校
(地域等との交流(ア)、保護者との協働(イ)、外部機関との連携(ウ))

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
(ア)	城北工業高校生との交流活動の充実	生徒が城北工業高校生と関わり、抵抗感を減らす、楽しむ、自分を見つめ直す	年間の計画通りに交流活動を実施し、ほとんどの生徒は、抵抗感なく、交流をすることができた。	B	○学校交流や学年交流を計13回実施し(学校5回、1年生3回、2年生4回、3年生1回)、生徒の感想からほとんどの生徒は、抵抗感なく、交流を楽しんでいる姿を見ることができた。 ●毎回、活動内容を検討しながら継続していく。
(イ)	保護者と協働した進路支援の充実	保護者と教員が生徒の目標を共有して目標を達成する	面談を通して生徒の目標を共有することができた。	A	○進路学習会等の実施で保護者へ進路に関する情報提供を継続的に行った。また、個別面談の際に実習の成果と課題の情報共有をすることができた。 ●学習会等への保護者の参加率を増やしていく。

(ウ)	生徒指導や家庭支援等での外部機関との積極的な連携	関係者が支援会議により各々の役割を明確化し計画的に課題解決を図る	課題解決を図るための関係機関との連携はとれていた。	B	○今年度は、スクールロイヤーとの連携ができた。 ○ケース会議では、校内体制での役割分担を明確化し、相談支援や医療との積極的連携を進めることができた。 ●支援会議についてのミニ学習会ができると良い。
-----	--------------------------	----------------------------------	---------------------------	---	--

エ <チーム> 全教職員が主体的に学校づくりに参画する学校
(共有(ア)、魅力的な学校(イ)、信頼される教員(ウ))

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
(ア)	情報共有と共通理解の徹底	教職員全員が教育目標、目指す生徒像を意識して必要な情報発信を行う	目指す生徒像に必要な情報発信を行うことができてきている。	B	○生徒情報を朝の打ち合わせで伝えたり、主任者会からの情報を学年会へ連絡したりして共有する機会を増やすことができた。 ●年度始めに生徒指導の方針や対応の基本を共通理解する場を設ける。
(イ)	教育活動と業務の目的の明確化	教員がやりがいをもって生き生きと働くことのできる教育活動や業務にする	行事の精選等業務改善の意識が高まった。時間外勤務時間の短縮は、意識するようになってきた。	B	○個人で定時退勤日を設定し、ワークライフバランスを意識した働き方を心掛けた。 ○各行事の目的を実施前に確認することで、業務の削減を一部することができた。 ●引き続き、誰もが継続していける業務に改善を行っていく必要がある。
(ウ)	才を磨き徳を積む毎日の実践	教員は生徒の模範となる言動を取っている	生徒の模範となる言動を取ることができた。	A	○管理職からのメール、職員会議、朝の打ち合わせ、掲示板等を活用し、教員の研鑽を高める情報発信をすることができた。 ●才を磨き徳を積む研修を積み上げる研修システムの構築を進める。

4 監査対象期間における特色ある取組

年度	取組概要	成果及び課題
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒、保護者、教員が共に進める学校教育活動を推進した。 ・外部講師を活用した人間関係づくり講座。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が主体的に学校生活を送ることができるよう、生徒会を中心にジョブニャンサミット（生徒、保護者、教員の話し合い活動）を年2回開催した。学校生活のルールや社会でのマナーなどについて話し合い、よりよい解決方法を生徒自身が導き出すことができた。この機会を通じて、お互いの意見を尊重することができる生徒が増えてきている。 ・コミュニケーションが苦手な生徒が多い中、各学年で人間関係作り講座を外部講師を招いて開催した。講座の中で、ゲームや話し合い活動をしたことで、自然にコミュニケーションが取れるようになった。

	<p>・職員の法令順守と高い倫理観を持った業務の遂行を目指し、コンプライアンス研修でグループワークの実施。</p>	<p>たり、お互いの気持ちを考えた言葉掛けができるようになったりした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不祥事の事例を元に、原因と対処方法を話し合う機会を設けて、一人一人の考えを皆で共有した。 ・「私のストレス解消法」「アンガーマネジメント」「休日の過ごし方」などをテーマにお互いの発表しあい、共感する機会を設けた。お互いを知ることにより、同僚性を高めることができた。個々が高い倫理観を持つと共にお互いを気遣いあえる職場の雰囲気醸し出せる取り組みを継続していきたい。
--	---	---

5 教職員について

(1) 令和4年度異動状況（城北分校）

		本務職員					臨時職員		会計年度 任用職員	合計	
		副校長	教諭	養護教諭	主任	主事	小計	任期付教諭	臨時教諭		非常勤 労務職員
城北分校	転出者	1	4				5				5
	退職者		1			(1)	2	1		1	4
	転入者	1	3				4				4
	新任者				1		1			1	2
	再任用者		1				1				1
	差引増減	0	△1		1	△1	△1	△1		0	

(2) 現員数

(令和5年4月1日現在)

区分	性別	本務職員					臨時職員		会計年度 任用職員	学校医	合計
		副校長	教諭	養護教諭	主任	小計	任期付教諭	臨時教諭	非常勤 労務職員		
城北分校	男	1	8			9	0	0		4	13
	女		8	1	1	10	1	1	1	2	15
	計	1	16	1	1	19	1	1	1	6	28

(3) 健康管理について

ア 健康管理の徹底

- (ア) 定期健康診断・生活習慣病検診の受診の徹底を図り、疾病の早期発見に努める。
- (イ) 教職員の健康管理への意識の高揚を図るため、健康管理医による講話を開催する。
- (ウ) 腰痛健診、腰痛予防講座を実施して、自己管理の促進を図る。
- (エ) 職員安全衛生委員会を開催し、教職員の健康診断結果や保健室の利用状況等について協議する。
- (オ) メンタルヘルスチェックを実施して、精神面での自己管理の促進を図る。

(4) 教職員の研修について

(令和4年度)

目的	研修内容及び成果	課題
自分たちで考え、判断し、行動できる姿を目指した授業づくり ～評価規準を大切にした作業学習～	生徒が働く喜び、楽しさを感じ、意欲を持ちやすい作業学習（自主生産作業）において、学習指導要領の3観点に沿った評価規準を設定して授業を実践し、事後に丁寧な評価を行い、それを基に改善を積み重ねることで社会自立に必要な「働く力」を向上させていくことを目指した。各作業班では、授業前に「単元目標・評価シート」を作成して評価規準を設定し、事後に担当者間で評価をして授業改善を進めた。また、授業を行う際には、前年度から引き続き、授業設計診断の4項目（解決したい課題や問い、考えるための材料、対話と思考、学習の成果）に沿って構想し、実践した。そのほかに「Job☆ニャンあゆみカード」を活用して、生徒自身が作業場面で自己評価を行い、担当者と話し合っ課題が意識できるようにもした。 「単元目標・評価シート」への取り組みでは、実態を踏まえた目標、評価基準の設定ができ、「目標、評価規準の設定⇒主な手立ての検討⇒評価」の流れを学ぶことができた。また、4項目を意識して授業を行うことで、教師の働き掛けや支援をより具体的にすることができ、生徒が課題を見付けたり、解決策を考えたりする場面を設定することもできた。	「Job☆ニャンあゆみカード」と通しての生徒自身の振り返りは、他教科の学習との兼ね合いで、教師からの投げ掛けに難しさがあったが、十分な効果を上げることができなかった。今後は、生徒のやりがいにつながる振り返りの方法を検討していく必要がある。

6 防災対策について

(1) 地震対策

ア 教育活動全領域の中で、防災意識の高揚を図るとともに、災害に際した非常対策を立て、全職員・生徒への周知徹底に努めた。

イ 生徒の非常用食料・毛布・簡易トイレ等を準備した。

ウ 防災週間に、災害用伝言ダイヤル(171)を利用した生徒の安否情報等録音・再生の訓練を保護者・教職員を対象に実施した。

(2) 防災訓練

学校防災計画に従い、火災予防に万全の注意を払い、生徒の安全と校舎その他施設設備の保全に努めている。

年度	月 日	訓練	訓練内容	参加者数
4	5・6	地震避難訓練	地震発生時の1次避難、2次避難の仕方 避難経路の確認	73人
	9・1	地震避難訓練	地震の総合防災訓練（南海トラフ地震）	73人
	12・10	地震避難訓練(合同)	地震発生時の安全な避難方法	890人 (73人)

7 学校開放について

実施していない。

事務執行の根拠法令調

項 目	根 拠 法 令
1 学校教育に関する こと	教育基本法（第1条、第2条、第6条） 学校教育法（第1条、第2条、第3条、第72条、第73条、 第74条、第76条、第77条） 学校教育法施行令 学校教育法施行規則 学校保健安全法（第5条） 学校給食法（第4条） 特別支援学校の幼稚部及び高等部における学校給食に関する法律（第3条） 静岡県立学校設置条例 静岡県立特別支援学校学則 静岡県就学支援委員会規則 特別支援学校小学部・中学部学習指導要領 特別支援学校高等部学習指導要領
2 学校の管理・運営 に関すること	学校教育法（第137条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条） 静岡県立学校管理規則 教育公務員特例法（第21条、第22条） 学校保健安全法（第4条、第7条～第9条、第13条～第15 条、第23条、第26条～第28条） 静岡県立学校職員安全衛生管理規程 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 学校図書館法（第3条、第4条） 静岡県教育委員会処務規程 特別支援学校への就学奨励に関する法律（第2条、第3 条） 特別支援学校への就学奨励に関する法律施行令 特別支援学校への就学奨励に関する法律施行規則 特別支援教育就学奨励費負担金等及び要保護児童生徒援助 費補助金交付要綱 要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費 補助金交付要綱

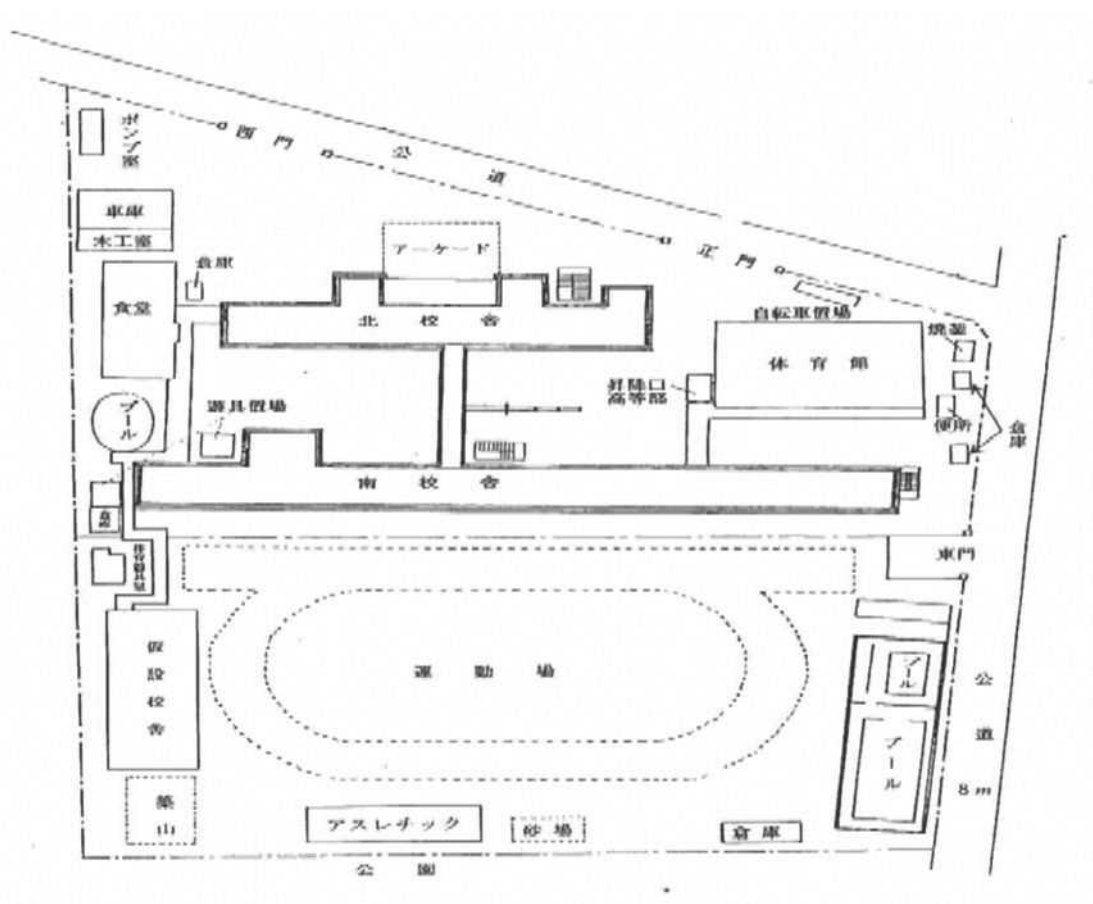
学校施設の概要(本校)

1 面積及び所有区分

(令和5年3月31日現在)

区 分	面 積 m ²	所 有 内 訳					摘 要
		県 有 m ²	国 有 m ²	市町村有 m ²	後援会有 m ²	民 有 m ²	
学 校 敷 地	16,551.18	16,551.18					
内 訳	校舎敷地	9,627.98	9,627.98				
	運動場敷地	6,923.20	6,923.20				
	そ の 他 の 敷 地						
校 舎	建 2,733.39 延 6,620.23	2,425.48 6,085.44				307.91 534.79	仮設校舎及び廊下東海リース(株)から賃借
体 育 館	建 573.50 延 500.25	573.50 500.25					
その他の建物	建 426.43 延 426.43	426.43 426.43					
プ ー ル	192.00	192.00					大8m×20m 小4m×8m

2 配置・規模等
 (1) 校舎等の配置図



(2) 学校施設の規模等（法面・演習林等を除く）

区分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当校	16,551.18 m ²	6,620.23 m ²	6,923.20 m ²
県平均	18,814.78 m ²	6,914.52 m ²	5,244.39 m ²

学校施設の概要（磐田分校）

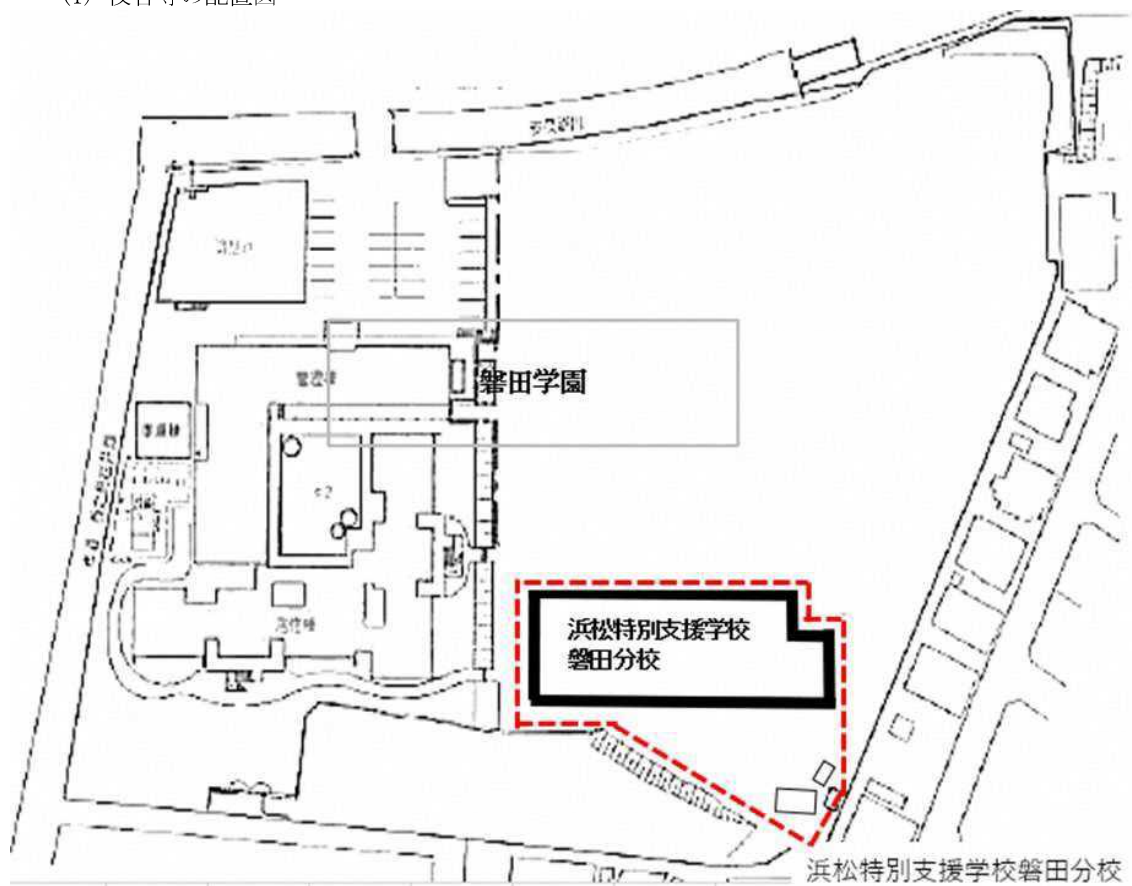
1 面積及び所有区分

（令和5年3月31日現在）

区 分	面 積 m ²	所 有 内 訳					摘 要
		県 有 m ²	国 有 m ²	市町村有 m ²	後援会有 m ²	民 有 m ²	
学 校 敷 地	1,712.25	1,712.25					磐田学園借地
内 訳	校舎敷地	1,017.25					
	運動場敷地						
	そ の 他 の 敷 地	695.00	695.00				
校 舎	建 810.51	810.51					
	延 1,516.89						
その他の建物	建 8.74	8.74					
	延 8.74						

2 配置・規模等

(1) 校舎等の配置図



(2) 学校施設の規模等（法面・演習林等を除く）

区 分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当 校	(1,712.25 m ²)	1,516.89 m ²	- m ²
県平均	(18,814.78 m ²)	6,914.52 m ²	- m ²

学校施設の概要（城北分校）

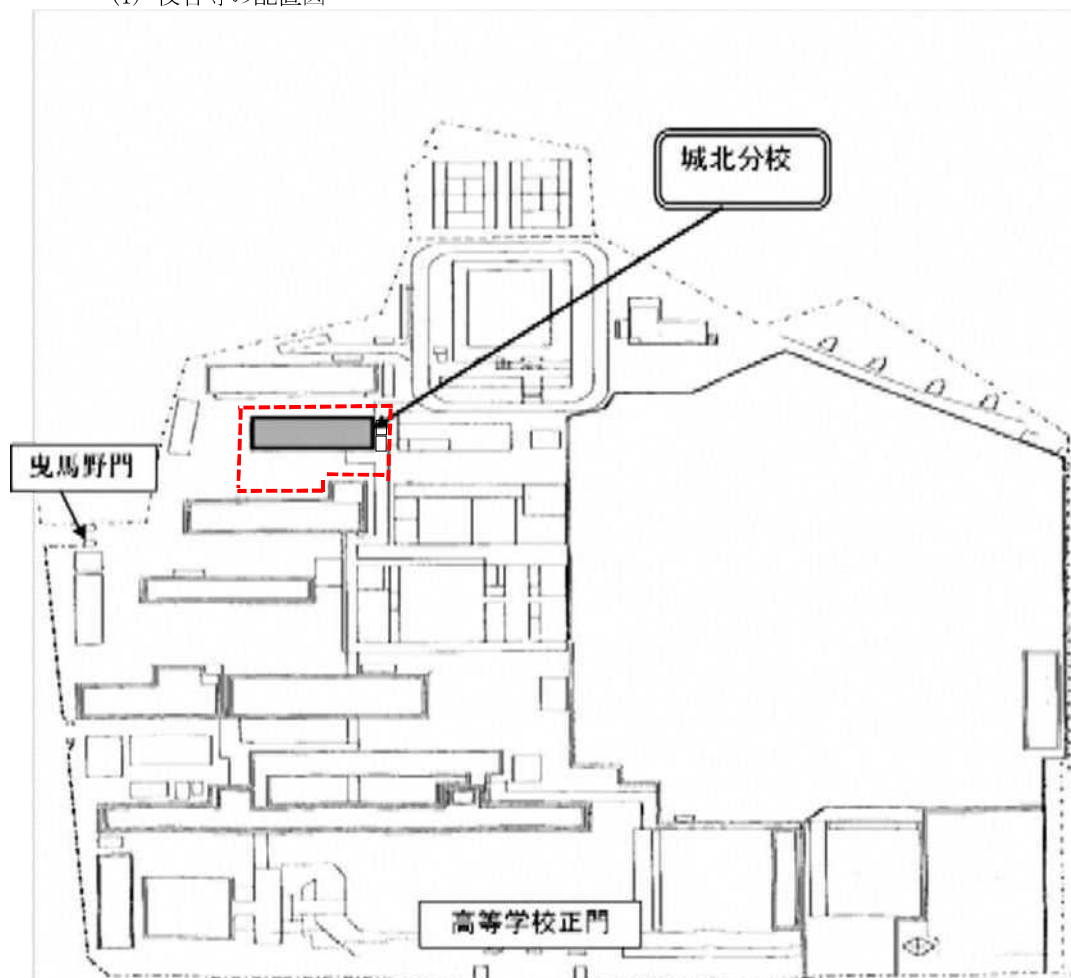
1 面積及び所有区分

（令和5年3月31日現在）

区 分	面 積 m ²	所 有 内 訳					摘 要
		県 有 m ²	国 有 m ²	市町村有 m ²	後援会有 m ²	民 有 m ²	
学 校 敷 地	1,008.71	1,008.71					城北工業高等学校借地
内 訳	校舎敷地	958.21	958.21				
	運動場敷地						
	そ の 他 の 敷 地	50.5	50.5				
校 舎	建 820.44 延1,389.00	820.44 1,389.00					

2 配置・規模等

(1) 校舎等の配置図



(2) 学校施設の規模等（法面・演習林等を除く）

区分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当校	(1,008.71 m ²)	1,389.00 m ²	- m ²
県平均	(18,814.78m ²)	6,914.52 m ²	- m ²

在 籍 生 徒 調

(小学部)

(令和5年3月31日現在)

学年	所属 区分		本 校			磐 田 分 校			合 計		
			男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	入学者		22	5	27				22	5	27
		増加									
		減少	1		1				1		1
現 在		21	5	26				21	5	26	
2年	入学者		15	5	20	4		4	19	5	24
		増加									
		減少									
	2年時当初		15	5	20	4		4	19	5	24
		増加	2		2		1	1	2	1	3
		減少				1		1	1		1
現 在		17	5	22	3	1	4	20	6	26	
3年	入学者		15	6	21	2		2	17	6	23
		増加				1		1	1		1
		減少	4		4				4		4
	2年時当初		11	6	17	3		3	14	6	20
		増加									
		減少									
	3年時当初		11	6	17	3		3	14	6	20
		増加	1		1	1		1	2		2
減少		1		1				1		1	
現 在		11	6	17	4		4	15	6	21	
4年	入学者		15	3	18	2	1	3	17	4	21
		増加									
		減少									
	2年時当初		15	3	18	2	1	3	17	4	21
		増加	2		2				2		2
		減少	6		6				6		6
	3年時当初		11	3	14	2	1	3	13	4	17
		増加				1		1	1		1
		減少				1		1	1		1
	4年時当初		11	3	14	2	1	3	13	4	17
		増加		1	1		1	1		2	2
減少											
現 在		11	4	15	2	2	4	13	6	19	

学年	所属		本 校			磐 田 分 校			合 計		
	区分		男	女	計	男	女	計	男	女	計
5年	入 学 者		17	8	25	2		2	19	8	27
		增加				1		1	1		1
		減少									
	2年時当初		17	8	25	3		3	20	8	28
		增加	2		2	1		1	3		3
		減少	1		1				1		1
	3年時当初		18	8	26	4		4	22	8	30
		增加	2		2				2		2
		減少	5	2	7	1		1	6	2	8
	4年時当初		15	6	21	3		3	18	6	24
		增加									
		減少									
	5年時当初		15	6	21	3		3	18	6	24
		增加		2	2	1	1	2	1	3	4
	減少										
現 在		15	8	23	4	1	5	19	9	28	
6年	入 学 者		10	8	18	1	1	2	11	9	20
		增加	1		1	1	1	2	2	1	3
		減少									
	2年時当初		11	8	19	2	2	4	13	10	23
		增加	1		1				1		1
		減少		1	1					1	1
	3年時当初		12	7	19	2	2	4	14	9	23
		增加	1	2	3	1		1	2	2	4
		減少	1		1				1		1
	4年時当初		12	9	21	3	2	5	15	11	26
		增加									
		減少	3		3				3		3
	5年時当初		9	9	18	3	2	5	12	11	23
		增加					1	1		1	1
	減少					1	1		1	1	
6年時当初		9	9	18	3	2	5	12	11	23	
	增加	1		1	2	1	3	3	1	4	
	減少					1	1		1	1	
現 在		10	9	19	5	2	7	15	11	26	
小 学 部 計		85	37	122	17	7	24	102	44	146	

(中学部)

学年	所属		本 校			磐 田 分 校			合 計		
	区分		男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	入学者		7	3	10		2	2	7	5	12
		増加 減少				1		1	1		1
	現在		7	3	10	1	2	3	8	5	13
2年	入学者		21	5	26	1	1	2	22	6	28
		増加 減少									
	2年時当初		20	5	25	1	1	2	21	6	27
		増加 減少	1		1	1	2	3	2	2	4
	現在		21	5	26	2	3	5	23	8	31
3年	入学者		19	11	30	1	4	5	20	15	35
		増加 減少				2		2	2		2
	2年時当初		16	10	26	3	3	6	19	13	32
		増加 減少				3		3	3		3
	3年時当初		16	10	26		3	3	16	13	29
		増加 減少	1		1	2		2	3		3
		減少	1		1		1	1	1	1	2
	現在		16	10	26	2	2	4	18	12	30
中学部計			44	18	62	5	7	12	49	25	74

(高等部)

学年	所属 区分	本 校			磐 田 分 校			城 北 分 校				合 計			
		総	男	女	計	男	女	計	総	男	女	計	男	女	計
1年	入学者	48	26	13	39				18	11	8	19	37	21	58
	増加 減少														
	現 在		26	13	39					11	8	19	37	21	58
2年	入学者	48	32	14	46				18	14	4	18	46	18	64
	増加 減少										1	1		1	1
	2年時当初		32	14	46					14	3	17	46	17	63
	増加 減少		1		1								1		1
	現 在		31	14	45					14	3	17	45	17	62
3年	入学者	54	33	21	54				18	10	8	18	43	29	72
	増加 減少		2	1	3								2	1	3
	2年時当初		31	20	51					10	8	18	41	28	69
	増加 減少		2		2						1	1	2	1	3
	3年時当初		29	20	49					10	7	17	39	27	66
	増加 減少														
	現 在		29	20	49					10	7	17	39	27	66
高等部計			86	47	133					35	18	53	121	65	186

学校合計		215	102	317	22	14	36		35	18	53	272	134	406
------	--	-----	-----	-----	----	----	----	--	----	----	----	-----	-----	-----

入学志願者及び入学者数調

区 分		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		高等部		高等部		高等部		高等部		高等部	
学 科 別		本校	城北分校	本校	城北分校	本校	城北分校	本校	城北分校	本校	城北分校
生徒定員(A)		57	18	57	18	48	18	48	18	57	18
募集者数(B)		57	18	57	18	48	18	48	18	57	18
志願者数	男	30(0)	20(0)	33(0)	20(0)	33	26	26	25	28(0)	16
	女	25(0)	13(0)	22(0)	11(0)	14	8	13	13	16(1)	12
	計(C)	55(0)	33(0)	55(0)	31(0)	47	34	39	38	44(1)	28
受検者数	男	30(0)	20(0)	33(0)	20(0)	32	26	26	25	28(0)	15
	女	25(0)	13(0)	22(0)	11(0)	14	8	13	13	16(1)	12
	計(D)	55(0)	33(0)	55(0)	31(0)	46	34	39	38	44(1)	27
合格者数	男	30(0)	12(0)	33(0)	10(0)	32	14	26	11	28(0)	10
	女	25(0)	6(0)	22(0)	8(0)	14	4	13	8	16(1)	8
	計(E)	55(0)	18(0)	55(0)	18(0)	46	18	39	19	44(1)	18
志願倍率(C)/(B)		0.96	1.83	0.96	1.72	0.98	1.89	0.81	2.11	0.77	1.55
受検倍率(D)/(B)		0.96	1.83	0.96	1.72	0.96	1.89	0.81	2.11	0.77	1.50
入学者数	男	30	12	33	10	32	14	26	11	28	10
	女	25	6	21	8	14	4	13	8	17	7
	計(F)	55	18	54	18	46	18	39	19	45	17
充足率(F)/(A)		0.96	1.00	0.94	1.00	0.96	1.00	0.81	1.05	0.79	0.94

卒業生の動向調

区 分		本 校			磐田分校	城北分校		合 計
		中学部	高 等 部		中学部	高 等 部		
			本 科	専攻科		本 科	専攻科	
進 学 者	普 通 高 校	0	0		0	0		0
	特別支援学校 高 等 部	26	0		3	0		29
	高等部専攻科	0	0		0	0		0
	四年制大学	0	0		0	0		0
	短期大学	0	0		0	0		0
	専修・各種学校	0	0		0	0		0
	公共職業訓練校	0	0		0	0		0
小 計	26	0		3	0		29	
施設等 入所者	障害者支援施設等	0	36		0	1		37
	他 の 施 設	0	0		1	0		1
小 計	0	36		1	1		38	
就 職 者		0	12		0	15		27
在 宅 療 養 等		0	0		0	0		0
そ の 他		0	1		0	1		2
計		26	49		4	17		96

生徒の状況(本校)

1 生徒の出身地域及び通学方法 (令和5年3月31日現在)

(1) 出身地 (単位:人)

市 町 名	□□□	□□□	□□□	合 計
生 徒 数	317	0	0	317
構 成 比 %	100%	0%	0%	100%

(2) 通学方法 (単位:人)

区 分	ス ク ー ル バ	ス	交 通 機 関	自 家 用 車	徒 歩	自 転 車	合 計
生 徒 数	137		76	97	4	3	317
構 成 比 %	43.2%		24.0%	30.6%	1.3%	0.9%	100%

2 部(クラブ)の加入状況 (令和5年3月31日現在)

(高等部) (単位:人)

区 分		運 動 部	文 化 部	未 加 入 者	計
部(クラブ)数		3	2		5
男 子	1 年	9	1	16	26
	2 年	7	1	23	31
	3 年	3	1	25	29
	計(A)	19	3	64	86
	構 成 比	22.1	3.5	74.4	100
女 子	1 年	0	2	11	13
	2 年	2	2	10	14
	3 年	3	1	16	20
	計(B)	5	5	37	47
	構 成 比	10.6	10.6	78.8	100
合 計	(A+B)	24	8	101	133
	構 成 比	18	6	76	100

3 障害別児童生徒数

(令和5年3月31日現在) (単位:人)

区 分		1 年 (2歳)	2 年 (3歳)	3 年 (4歳)	4 年 (5歳)	5 年	6 年	合 計	学級数
幼 稚 部	単一障害								
	—								
	—								
	合 計								
小 学 部	単一障害	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	13
	重複障害	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	24
	肢体重複	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	0
	合 計	26	22	17	15	23	19	122	37
中 学 部	単一障害	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>	9
	重複障害	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>	6
	肢体重複	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>	0
	合 計	10	26	26				62	15
高 等 部	単一障害	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>	15
	重複障害	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>	3
	肢体重複	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>	0
	合 計	39	45	49				133	18

4 起因疾患別児童生徒数

(令和5年3月31日現在) (単位:人)

区 分	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	計
幼 稚 部						
小 学 部	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	122
中 学 部	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	62
高 等 部	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	133
訪 問						
計	73	14	121	98	11	317

生徒の状況（磐田分校）

1 生徒の出身地域及び通学方法（令和5年3月31日現在）

（1）出身地

（単位：人）

市町名	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	合計	
生徒数	8	4	6	1	2	2	4	1	1	1	1	1	1	1	3	36
構成比%	22.2%	11.1%	16.7%	2.8%	5.5%	5.5%	11.1%	2.8%	2.8%	2.8%	2.8%	2.8%	2.8%	2.8%	8.3%	100%

（2）通学方法（単位：人）

区 分	徒 歩	合 計
生 徒 数	36	36
構 成 比 %	100%	100%

2 部（クラブ）の加入状況（令和5年3月31日現在）

（単位：人）

区 分		運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数					
男子	1年				
	2年				
	3年				
	計(A)				
	構成比				
女子	1年				
	2年				
	3年				
	計(B)				
	構成比				
合計	(A+B)				
	構成比				

3 障害別児童生徒数

(令和5年3月31日現在) (単位:人)

区 分		1 年 (2歳)	2 年 (3歳)	3 年 (4歳)	4 年 (5歳)	5 年	6 年	合 計	学級数
幼 稚 部	単一障害								
	—								
	—								
	合 計								
小 学 部	単一障害	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4
	重複障害	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1
	肢体重複	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	0
	合 計	0	4	4	4	5	7	24	5
中 学 部	単一障害	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>	2
	重複障害	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>	1
	肢体重複	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>	0
	合 計	3	5	4				12	3
高 等 部	単一障害								
	重複障害								
	肢体重複								
	合 計								

4 起因疾患別児童生徒数

(令和5年3月31日現在) (単位:人)

区 分	□□□	□□□	□□□	□□□	計
幼稚部					
小学部	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	24
中学部	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	12
高等部					
訪 問					
計	16	14	1	5	36

生徒の状況(城北分校)

1 生徒の出身地域及び通学方法(令和5年3月31日現在)

(1) 出身地 (単位:人)

市町名	□□□	□□□	合計
生徒数	50	3	53
構成比%	94.3%	5.7%	100%

(2) 通学方法 (単位:人)

区分	交通機関	徒歩	自転車	合計
生徒数	24	3	26	53
構成比%	45.3%	5.7%	49.0%	100%

2 部(クラブ)の加入状況(令和5年3月31日現在)

(高等部) (単位:人)

区分		運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数		1	1		2
男子	1年	5	0	6	11
	2年	7	3	4	14
	3年	2	0	8	10
	計(A)	14	3	18	35
	構成比	40	8.6	51.4	100
女子	1年	1	2	5	8
	2年	1	1	1	3
	3年	1	2	4	7
	計(B)	3	5	10	18
	構成比	16.7	27.8	55.5	100
合計	(A+B)	17	8	28	53
	構成比	32.1	15.1	52.8	100

3 障害別児童生徒数

(令和5年3月31日現在) (単位:人)

区 分		1 年 (2歳)	2 年 (3歳)	3 年 (4歳)	4 年 (5歳)	5 年	6 年	合 計	学級数
幼 稚 部	単一障 害								
	—								
	—								
	合 計								
小 学 部	単一障 害								
	重複障 害								
	肢体重 複								
	合 計								
中 学 部	単一障 害								
	重複障 害								
	肢体重 複								
	合 計								
高 等 部	単一障 害	□	□	□				□	6
	重複障 害								
	肢体重 複								
	合 計	19	17	17				53	6

4 起因疾患別児童生徒数 (令和5年3月31日現在) (単位:人)

区 分	□□□	□□□	計
幼 稚 部			
小 学 部			
中 学 部			
高 等 部	□	□	53
訪 問			
計	41	12	53

特別支援学校における生産物売払調（本校）

令和4年度

（令和5年3月31日現在）

主な生産品目				
本 年 度	<p><手芸品・工作物></p> <p>ポチ袋、クリアファイル、トートバッグ、ティッシュケース、巾着袋、スマホポーチ、マルチクリーナー、小物入れ、キーホルダー、フォトフレーム、ほうき、編み籠、編み掛け飾り、はさみカバー、ヘアピン、コードホルダー、カードケース、メガネケース、筆入れ、キーケース、かぼんホルダー、コインケース、ティッシュケース、ランチョンマット、コースター、クッション、バッグ、ペン立て、ダストボックス、かご、平皿、バスケット</p> <p><農作物・園芸品></p> <p>花の苗、なす、ピーマン、枝豆、ミニトマト、さつまいも、ブロッコリー、小松菜、チンゲン菜、水菜、ほうれん草、じゃがいも、大根、ネギ</p> <p><陶芸品></p> <p>フリーカップ、小皿、長皿、キャンドルシェード、中皿、大皿、コースター</p> <p><木工用品></p> <p>メモスタンド、ペン立て、時計、ウッドブロックタワー、おもちゃ、コースター、折りたたみ椅子</p>			
	<table border="1"> <tr> <td>①売払金額</td> <td>425,100円</td> <td>②前年度との差額</td> <td>△19,250円</td> </tr> </table>	①売払金額	425,100円	②前年度との差額
①売払金額	425,100円	②前年度との差額	△19,250円	
前 年 度	<p><手芸品・工作物></p> <p>コースター、写真立て、トレイ、巾着袋、マスクケース、キーホルダー、ポチ袋、ティッシュケース、トートバッグ、はし入れ、小物入れ、アロマワックスサシェ、ペン立て、丸かご、コインケース、メガネケース、コードホルダー、ブックカバー、カードケース、ヘアピン、はさみカバー、ポーチ、アクリルたわし、ランチョンマット、筆入れ、ダストボックス</p>			

	<p><農作物・園芸品> 花の苗、水菜、キャベツ、ほうれん草、ブロッコリー、大根、枝豆、ピーマン、なす、おくら、白菜、さつまいも、ししとう、ゴーヤ、ラディッシュ、さやいんげん、チンゲン菜、小松菜</p> <p><陶芸品> 箸置き、香炉、小皿、フリーカップ、角皿、四角皿、マグネット、薬味皿、さんま皿、多肉鉢</p> <p><木工用品> コースター、キーホルダー、鍋敷き、ウッドブロックタワー、折りたたみ椅子、おもちゃ、カレンダー</p>		
	①売払金額	444,350 円	②前年度との差額 51,490 円
前々年度	<p><手芸品・工作物> コースター、トートバッグ、巾着袋、ティッシュケース、バスボム、マスク、三角巾、小物入れ、ペン立て、丸かご、キーホルダー、コードホルダー、カード入れ、ポーチ、ペンケース、コインケース、印鑑ケース、メガネケース、アクリルたわし、マルチケース、フォトフレーム、シュシュ、エコバッグ、ランチョンマット、鍋敷き、ダストボックス、弁当袋</p> <p><農作物・園芸品> 花の苗、水菜、ぬき菜、キャベツ、ブロッコリー、大根、枝豆、ピーマン、なす、白菜、さつまいも、小松菜、サラダごぼう</p> <p><陶芸品> 箸置き、香炉、小皿、フリーカップ、小鉢、角皿、醤油皿、小鉢、多肉鉢、ピアグラス、茶碗</p> <p><木工用品></p>		

コースター、ウッドブロックタワー、折りたたみ椅子、ペン立て付きメモスタンド、鍋敷き、おもちゃ、メモスタンド、カレンダー			
①売払金額	392,860 円	②前年度との差額	△96,240 円

特別支援学校における生産物売払調（磐田）

令和4年度

（令和5年3月31日現在）

主な生産品目			
本 年 度	<手芸品・工作物> マグネット、ネームタグ、コースター、ペントレー		
	①売払金額	20,050 円	②前年度との差額 △18,550 円
前 年 度	<手芸品・工作物> ランチョンマット、ケース、ポーチ、 <木工用品> 鍋敷き、一輪挿し、ネームスタンド		
	①売払金額	38,600 円	②前年度との差額 3,100 円
前 々 年 度	<手芸品・工作物> クラッチバッグ、ペンケース、ペン立て <木工用品> コースター、鍋敷き、カレンダー、ペン立て		
	①売払金額	35,500 円	②前年度との差額 △13,400 円

特別支援学校における生産物売払調（城北）

令和4年度

（令和5年3月31日現在）

主な生産品目			
本年度	<p><手芸品・工作物> ブックカバー、ふくさ、ノート、メモ帳、スケジュール帳、ふせん、書き取り帳、ランチバッグ、トートバッグ、サコッシュ、ポーチ、結束バンド、ランチバンド、キーホルダーバッグ、ベルトループ、小物入れ、コインケース、名刺入れ、パスケース、キーケース、トレイ、ペンケース、ヘアゴム、カレンダー、コンテナボックス、マグネット、ケース、ポチ袋、豆本、ダイアリー、クリップ、ペン立て</p>		
	①売払金額	459,950円	②前年度との差額 19,550円
前年度	<p><手芸品・工作物> 巾着袋、マスク、ケース、ポーチ、トートバッグ、エコバッグ、ペンケース、ふせん、ふくさ、メモ帳、ブックカバー、マグネット、ペン立て、カレンダー、名刺入れ、メガネケース、パスケース、小銭ケース、結束バンド、ヘアゴム、キーホルダーバッグ、キーケース、ノート、ポチ袋、メッセージカード、書き取り帳、スライドケース、財布、ランチバンド、首輪、ベルトループ、ハンカチ、バッグインバッグ、マスクカバー、ヘアゴム</p> <p><印刷物> 名刺</p>		
	①売払金額	440,400円	②前年度との差額 △8,050円
前々年度	<p><手芸品・工作物> バッグ、トートバッグ、巾着袋、ポーチ、マスク、ケース、弁当つつみ、ペンケース、ふせん、小物入れ、マスクケース、マウスパッド、ふくさ、豆本、メモ帳、手帳、野帳、コースター、ポチ袋、マグネット、カレンダー、ペン立て、文房具ケース、ベルトループホルダー、名刺入れ、メガネケース、パスケース、イヤホンホルダー、小銭入れ、スマホケース、結束バンド、ヘアゴム、キーホルダーバッグ、キーケース、文庫本カバー</p> <p><印刷物> 名刺</p>		

預 金 調

(令和5年3月31日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高	摘 要
株式会社静岡銀行 浜松南支店	無利息型 普通預金	0113900	静岡県立浜松特別支援学校 資金前渡者 佐藤 徹	円 0	給料の現金支給
株式会社静岡銀行 浜松南支店	無利息型 普通預金	0558725	(自振口) 静岡県立浜松特別支援学校 資金前渡者 佐藤 徹	0	後納郵便料金・電話料 金・社会保険料の口座 振替
株式会社静岡銀行 浜松南支店	無利息型 普通預金	0575477	静岡県立浜松特別支援学校 奨励費代理受領者 佐藤 徹	0	特別支援教育就学奨励 費
残 高 合 計				0	

郵 券 等 受 払 調

(令和5年3月31日現在)

(本校)

(単位：枚、円)

区分	種 類	3年度						4年度						摘要		
		繰 越		受 入		払 出		繰 越		受 入		払 出			差引現在高	
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額		枚数	金額
郵券	120円券	54	6,480	200	24,000	200	24,000	54	6,480	250	30,000	283	33,960	21	2,520	通信用
〃	84円券	100	8,400	350	29,400	329	27,636	121	10,164	200	16,800	218	18,312	103	8,652	通信用
〃	10円券	40	400	250	2,500	202	2,020	88	880	210	2,100	258	2,580	40	400	通信用
〃	1円券	75	75	30	30	44	44	61	61	0	0	38	38	23	23	通信用
計			15,355		55,930		53,700		17,585		48,900		54,890		11,595	

(令和5年3月31日現在)

(磐田分校)

(単位：枚、円)

区分	種 類	3年度						4年度						摘要		
		繰 越		受 入		払 出		繰 越		受 入		払 出			差引現在高	
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額		枚数	金額
郵券	120円券	31	3,720	80	9,600	62	7,440	49	5,880	70	8,400	77	9,240	42	5,040	通信用
〃	84円券	110	9,240	100	8,400	160	13,440	50	4,200	120	10,080	146	12,264	24	2,016	通信用
〃	10円券	54	540	80	800	124	1,240	10	100	200	2,000	133	1,330	77	770	通信用
〃	1円券	33	33	30	30	48	48	15	15	100	100	21	21	94	94	通信用
計			13,533		18,830		22,168		10,195		20,580		22,855		7,920	

(令和5年3月31日現在)

(城北分校)

(単位：枚、円)

区分	種 類	3年度						4年度						摘要		
		繰 越		受 入		払 出		繰 越		受 入		払 出			差引現在高	
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額		枚数	金額
郵券	120円券	56	6,720	100	12,000	69	8,280	87	10,440	100	12,000	130	15,600	57	6,840	通信用
〃	84円券	153	12,852	400	33,600	408	34,272	145	12,180	500	42,000	626	52,584	19	1,596	通信用
〃	10円券	85	850	200	2,000	123	1,230	162	1,620	200	2,000	262	2,620	100	1,000	通信用
〃	1円券	74	74	0	0	18	18	56	56	0	0	18	18	38	38	通信用
計			20,496		47,600		43,800		24,296		56,000		70,822		9,474	

材 料 品 受 払 調

令和4年度
(令和5年3月31日現在)

(本校)

品名 区分	令和3年度						令和4年度								摘要
	繰越		受入		払出		繰越		受入		払出		差引現在高		
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
檜板	0	0	179	170,929	179	170,929	0	0	72	135,014	72	135,014	0	0	
角棒	0	0	33	24,442	33	24,442	0	0	40	34,320	40	34,320	0	0	
丸棒	0	0	43	28,138	43	28,138	0	0	35	14,465	35	14,465	0	0	
ラワン	0	0	101	22,319	101	22,319	0	0	30	20,130	30	20,130	0	0	
シナベニヤ	0	0	36	4,356	36	4,356	0	0	0	0	0	0	0	0	
籐芯材	0	0	22	155,740	22	155,740	0	0	12	97,850	12	97,850	0	0	
釉薬	0	0	1	15,180	1	15,180	0	0	3	27,852	3	27,852	0	0	
鑄込用泥しょう	0	0	13	128,634	13	128,634	0	0	2	19,800	2	19,800	0	0	
粘土	0	0	12	46,200	12	46,200	0	0	9	37,422	9	37,422	0	0	
布	0	0	133.1	119,913	133.1	119,913	0	0	97	91,068	97	91,068	0	0	
糸	0	0	396	134,200	396	134,200	0	0	363	127,076	363	127,076	0	0	
クラフトバンド	0	0	19	25,210	19	25,210	0	0	21	18,330	21	18,330	0	0	
成牛タンロー	0	0	944	150,457	944	150,457	0	0	1,199	191,840	1,199	191,840	0	0	
牛革ヴィンセント	0	0	624	97,219	624	97,219	0	0	762	93,726	762	93,726	0	0	
革	0	0	2	9,310	2	9,310	0	0	0	0	0	0	0	0	
裏地	0	0	3	6,600	3	6,600	0	0	0	0	0	0	0	0	
ネット	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1,936	2	1,936	0	0	
ギャロレース	0	0	0	0	0	0	0	0	8	2,464	8	2,464	0	0	
山桜	0	0	0	0	0	0	0	0	2	22,660	2	22,660	0	0	
計	/	/	1,138,847	/	1,138,847	/	/	0	/	935,953	/	935,953	/	0	

材 料 品 受 払 調

令和4年度
(令和5年3月31日現在)

(磐田分校)

品名	区分	令和3年度						令和4年度								摘要	
		繰越		受入		払出		繰越		受入		払出		差引現在高			
		数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額		
杉ブレナー材 (杉板材)	枚	0	0	17	17,580	17	17,580	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
丸棒(米ヒバ)	本	0	0	15	4,470	15	4,470	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ホワイトウッド	本	0	0	2	1,658	2	1,658	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
集成材	枚	0	0	11	20,900	11	20,900	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
寄木セット	セット	0	0	3	3,540	3	3,540	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
メラnty	枚	0	0	2	2,960	2	2,960	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
布・シーチング	m	0	0	60	62,123	60	62,123	0	0	20	41,390	20	41,390	0	0	0	0
クラフトバンド	m	0	0	0	0	0	0	0	0	310	8,730	310	8,730	0	0	0	0
計			0		113,231		113,231		0		50,120		50,120			0	0

令和4年度
(令和5年3月31日現在)

(城北分校)

品名	区分	令和3年度						令和4年度								摘要	
		繰越		受入		払出		繰越		受入		払出		差引現在高			
		数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額		
ブリキ板	枚	0	0	9	22,770	9	22,770	0	0	10	28,600	10	28,600	0	0	0	0
ガルバリウム板	枚	0	0	0	0	0	0	0	0	2	6,380	2	6,380	0	0	0	0
亜鉛平板	枚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
杉材	枚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
シナベニヤ	枚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ケントボード	枚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
布	m	0	0	128.6	148,566	128.6	148,566	0	0	113	120,430	113	120,430	0	0	0	0
牛革ヴィンセント	デシ	0	0	927	114,021	927	114,021	0	0	806	99,138	806	99,138	0	0	0	0
成牛タンロー	デシ	0	0	247	39,520	247	39,520	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
集成材・MDF材	枚	0	0	14	12,089	14	12,089	0	0	5	4,750	5	4,750	0	0	0	0
磁石	個	0	0	0	0	0	0	0	0	100	1,600	100	1,600	0	0	0	0
計			0		336,966		336,966		0		260,898		260,898			0	0

余 白

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)		
					2年度	3年度	左のうち、 2年度からの 繰越額分
(12) 委託料	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費	/	480,227	/
	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費		48,400	
	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費		77,683,608	
	一般会計	教育費	学校教育費	健康体育費		16,583,512	
計					94,769,206	94,795,747	0
(14) 工事 請負費	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費	/	2,460,920	/
計					6,167,700	2,460,920	0
(16) 公有財産 購入費					/		/
計					0	0	0
(17) 備品 購入費	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費	/	1,717,100	/
	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費		2,941,620	
計					6,541,040	4,658,720	0
(18) 負担金、 補助及 び交付金	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	/	42,600	/
計					282,880	42,600	0
(21) 補償、補填 及び賠償 金					/		/
計					0	0	0

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和5年3月31日現在)

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)	
						うち、3年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	35,750	
	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	74,405,199	
	一般会計	教育費	学校教育費	健康体育費	15,594,502	
計					90,035,451	0
(14) 工事 請負費	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費	5,885,000	
計					5,885,000	0
(16) 公有財産 購入費						
計					0	0
(17) 備品 購入費	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	2,631,860	
計					2,631,860	0
(18) 負担金、 補助金及 び交付金	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	29,200	
計					29,200	0
(21) 補償、補填 及び賠償 金						
計					0	0

委 託 料 に

整理 番号	委託業務名	受 託 者	当初設計金額	契約金額		
				当初額	変 増 減	更 額 計
			円	円	円	円
1	通学バス 輸送業務	ラビット 急行株式会社	183,160,890	158,779,500	0	158,779,500
2	通学バス（2学 期登校便）輸送 業務委託	ラビット 急行株式会社	11,138,600	11,138,600	0	11,138,600
3	通学バス（3学 期登校便）輸送 業務委託	ラビット 急行株式会社	6,710,000	6,710,000	0	6,710,000
4	給食業務	株式会社ミカ サ	50,345,714	48,694,800	0	48,694,800
5	産業廃棄物収集 運搬処分業務	株式会社リサ イクルクリー ン	110,000	110,000	0	110,000
6	産業廃棄物収集 運搬処分業務	株式会社リサ イクルクリー ン	110,000	110,000	0	110,000
7	産業廃棄物収集 運搬処分業務	株式会社リサ イクルクリー ン	110,000	110,000	0	110,000
8	産業廃棄物収集 運搬処分業務	株式会社リサ イクルクリー ン	110,000	110,000	0	110,000
9	産業廃棄物収集 運搬処分業務	株式会社リサ イクルクリー ン	42,900	42,900	0	42,900

関 する 調 (令和3年度)

契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
一般	3.4.1 ～ 6.3.31	3.5.31 3.6.30 3.7.30 3.8.31 3.9.30 3.10.29 3.11.30 3.12.27 4.1.31 4.2.28 4.3.31 4.4.28 小計	円 6,527,919 6,527,919 6,527,919 6,527,919 4,145,869 4,145,869 4,145,869 4,145,869 4,145,869 4,145,869 4,145,869 4,145,869 4,145,869 59,278,628	通学・校外活動 児童・生徒送迎 バス輸送業務 (N:12月)	本校 3長期 インターコース 車種変更
随契	3.8.13 ～ 3.12.31	3.9.30 3.10.29 3.11.30 3.12.27 4.1.31 小計	2,227,720 2,227,720 2,227,720 2,227,720 2,227,720 11,138,600	通学 児童・生徒送迎 バス輸送業務 (N:5月)	本校 随契2号 (不適)
随契	3.12.21 ～ 4.3.31	4.2.28 4.3.31 4.4.28 小計	2,236,666 2,236,666 2,236,668 6,710,000	通学 児童・生徒送迎 (N:3月)	本校 随契2号 (不適)
一般	2.8.6 ～ 5.7.31	累計金額 3.5.31 3.6.30 3.7.30 3.8.31 3.9.30 3.10.29 3.11.30 3.12.27 4.1.31 4.2.28 4.3.31 4.4.28 小計	(10,821,008) 1,352,626 1,352,626 1,352,626 1,352,626 1,352,626 1,352,626 1,352,626 1,352,626 1,352,626 1,352,626 1,352,626 1,352,626 16,231,512	学校給食業務 (N:12月)	本校 2長期 再調理業務の 開始
随契	3.7.5 ～ 3.12.20	3.10.6	110,000	廃プラスチック類等混合廃棄物の収集運搬処分業務 (N:フックロール8.0㎡×1台)	本校 随契1号 (少額)
随契	3.8.2 ～ 4.1.31	4.1.25	110,000	廃プラスチック類等混合廃棄物の収集運搬処分業務 (N:フックロール8.0㎡×1台)	本校 随契1号 (少額)
随契	3.11.26 ～ 4.3.28	4.3.4	110,000	廃プラスチック類等混合廃棄物の収集運搬処分業務 (N:フックロール8.0㎡×1台)	本校 随契1号 (少額)
随契	4.2.24 ～ 4.3.31	4.4.6	110,000	廃プラスチック類等混合廃棄物の収集運搬処分業務 (N:フックロール8.0㎡×1台)	本校 随契1号 (少額)
随契	3.12.16 ～ 4.3.28	4.4.11	42,900	蛍光灯廃棄物の収集運搬処分業務 (N:60kg×1車)	本校 随契1号 (少額)

委 託 料 に

整理 番号	委託業務名	受 託 者	当初設計金額	契約金額		
				当初額	変 増 減	更 額 計
10	不燃ごみ収集 運搬処分業務	株式会社三共	24,200	24,200	0	24,200
11	産業廃棄物収集 運搬処分業務	株式会社太洋 サービス	69,300	69,300	0	69,300
12	産業廃棄物収集 運搬処分業務	株式会社太洋 サービス	69,300	69,300	0	69,300
13	防鼠防虫業務	株式会社帝装 化成 浜松営業所	237,600	237,600	0	237,600
14	自動扉保守点検 業務	中日本オー ト・ドア株式 会社	23,980	23,980	0	23,980
15	産業廃棄物収集 運搬処分業務	有限会社やま や伊藤商店	49,500	49,500	0	49,500
	事務関係計	15件				
16	アスベスト及び 鉛他含有調査業 務委託	ユーロフィン 日本総研株式 会社	647,900	506,000	△ 25,773	480,227
	工事関係計	1件				
参考 1	警備業務	総合警備保障 株式会社静岡 支社	/	6,705,600	0	6,705,600
参考 2	消防用設備等 保守点検業務	静岡県消防設 備保守点検業 協同組合	/	12,100,000	0	12,100,000
参考 3	自家用電気工作 物保安管理業務	遠鉄アシスト 株式会社	/	2,129,160	48,400	2,177,560
参考 4	可燃物収集運搬 処分業務	環境保全株式 会社	/	収集運搬料 @462円/回 処分料 @13.2円/kg	0 0	収集運搬料 @462円/回 処分料 @13.2円/kg

関 する 調 (令和3年度)

契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
随契	3. 4. 19 ～ 4. 3. 31	3. 5. 31 3. 6. 30 3. 7. 28 3. 8. 31 3. 10. 29 3. 11. 22 3. 12. 27 4. 1. 31 4. 2. 28 4. 3. 23 4. 4. 28 小計	2,200 2,200 2,200 2,200 2,200 2,200 2,200 2,200 2,200 2,200 2,200 2,200 24,200	不燃ごみ収集運搬 処分業務 (N:11月×1回)	本校 随契1号 (少額)
随契	3. 9. 21 ～ 3. 11. 12	3. 10. 28	69,300	グリストラップ汚泥の 収集運搬処分業務 (N:グリストラップ汚泥800L×1式)	本校 随契1号 (少額)
随契	4. 2. 8 ～ 4. 3. 28	4. 3. 23	69,300	グリストラップ汚泥の 収集運搬処分業務 (N:グリストラップ汚泥800L×1式)	本校 随契1号 (少額)
随契	3. 4. 12 ～ 4. 3. 31	3. 10. 29 4. 4. 28 小計	118,800 118,800 237,600	防鼠防虫(点検等) (N12回) 防虫(薬剤散布) (N:2回)	浜松聴覚特別支援、浜松 視覚特別支援、浜名特別 支援、浜北特別支援、浜 松工業高校、浜名高校 随契1号(少額)
随契	3. 4. 19 ～ 4. 3. 31	3. 7. 16 3. 10. 18 4. 1. 31 4. 4. 28 小計	5,995 5,995 5,995 5,995 23,980	自動扉保守点検業務 (N:4回)	本校 磐田分校 随契1号 (少額)
随契	3. 4. 19 ～ 3. 9. 30	3. 5. 14	49,500	廃プラスチック類等混合廃棄物 の収集運搬処分業務 (N:フックロール8.0㎡×1台)	磐田分校 随契1号 (少額)
			94,315,220		
随契	4. 2. 14 ～ 4. 3. 31	4. 4. 8	480,227	アスベスト・鉛等含有調査 外壁・渡り廊下・柱・上裏 (N:1回)	本校 随契1号 (少額)
			480,227		
	1. 10. 1 ～ 6. 9. 30			警備業務(N:12月)	浜松北高校 本校
	3. 4. 1 ～ 4. 3. 31			消防設備等保守点検業務 (機器1回) (機器・総合1回)	浜松商業高等学校 本校
	3. 4. 1 ～ 4. 3. 31			自家用電気工作物 保安管理業務 (月次点検 N:5月) (年次点検 N:1回)	浜松湖東高校 本校
	3. 4. 6 ～ 4. 3. 31			可燃物収集運搬処分 業務 (N:12月 217回)	浜松大平台高校 本校 単価契約

委 託 料 に

整理 番号	委託業務名	受 託 者	当初設計金額	契約金額		
				当初額	変 増 減	更 額 計
参考 5	プール浄化装置 保守点検業務	清化工業株式 会社	/	998,800	0	998,800
参考 6	定期点検業務	有限会社いま 総合設計	/	3,817,000	0	3,817,000
参考 7	警備業務	総合警備保障 株式会社静岡 支社	/	17,166,600	0	17,166,600
参考 8	消防用設備等 保守点検業務	静岡県消防設 備保守点検業 協同組合	/	9,020,000	0	9,020,000
参考 9	可燃物収集運搬 処分業務	(株)ハシモト	/	収集運搬料 @5,720円/回 処分料 @17.6円/kg 収納容器料 @1,100円/月	0 0 0	収集運搬料 @5,720円/回 処分料 @17.6円/kg 収納容器料 @1,100円/月
参考 10	ガスヒートポン プ点検業務	ヤマザキ・ シー・エー株式 会社	/	3,960,000	0	3,960,000
参考 11	定期点検業務	株式会社創亜 開発	/	5,610,000	0	5,610,000
参考 12	警備業務	セコム(株)	/	10,164,000	0	10,164,000
参考 13	定期点検業務	(有)山口一級建 築士事務所	/	3,080,000	0	3,080,000
	計	13件				

関 する 調 (令和3年度)

契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
	3.4.9 ～ 3.11.30			プール浄化装置保守 点検業務 (N: 2回)	浜松東高校 本校
	3.9.8 ～ 4.1.31			定期点検業務 (A:設備6,876.25㎡ 建築7,128.54㎡)	湖西高等学校 本校
	1.10.1 ～ 6.9.30			警備業務 (N: 12月)	磐田南高校 磐田分校
	3.4.1 ～ 4.3.31			消防施設等点検業務 (機器1回) (機器・総合1回)	磐田農業高校 磐田分校
	3.4.12 ～ 4.3.31			可燃物収集運搬処分 業務 (N: 12月 93回)	磐田西高校 磐田分校 単価契約
	3.6.21 ～ 3.12.24			ガスヒートポンプ 点検業務 (N: 2回)	磐田南高等学校 磐田分校
	3.9.10 ～ 4.2.28			定期点検業務 (A:設備1,516.89㎡ 建築1,516.89㎡)	磐田西高等学校 磐田分校
	1.10.1 ～ 6.9.30			警備業務 (N: 12月)	浜松工業高校 城北分校
	3.9.15 ～ 4.1.25			定期点検業務 (A:設備1,389.00㎡)	浜北西高等学校 城北分校

委 託 料 に

整理 番号	委託業務名	受 託 者	当初設計金額	契約金額			計
				当初額	変 増 減	更 額	
			円	円		円	円
1	通学バス 輸送業務	ラビット 急行株式会社	183,160,890	158,779,500	3,732,126		162,511,626
2	通学バス（1学 期登校便）輸送 業務委託	ラビット 急行株式会社	9,662,400	9,662,400		0	9,662,400
3	通学バス（2学 期登校便）輸送 業務委託	ラビット 急行株式会社	10,912,000	10,912,000		0	10,912,000
4	通学バス（3学 期登校便）輸送 業務委託	ラビット 急行株式会社	6,820,000	6,820,000		0	6,820,000
5	給食業務	株式会社ミカ サ	50,345,714	48,694,800	618,238		49,313,038
6	産業廃棄物収集 運搬業務	エス・ライ ナー株式会社	26,400	26,400		0	26,400
7	産業廃棄物処分 業務	エコプラント 株式会社	74,800	74,800		0	74,800
8	産業廃棄物収集 運搬業務	エス・ライ ナー株式会社	13,200	13,200	1,650		14,850
9	産業廃棄物処分 業務	エコプラント 株式会社	74,800	74,800	9,350		84,150
10	産業廃棄物収集 運搬業務	エス・ライ ナー株式会社	13,200	13,200	3,300		16,500

(令和4年度)

(令和5年3月31日現在)

関する調

契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
一般	3.4.1 ～ 6.3.31	4.5.31 4.6.30 3.7.29 4.8.31 4.9.30 4.10.31 4.11.30 4.12.27 5.1.31 5.2.28 5.3.31 小計	(59,278,628)円 4,301,374 4,301,374 4,301,374 4,301,374 4,301,374 4,301,374 4,301,374 4,301,374 4,301,374 4,301,374 4,301,374 47,315,114	通学・校外活動 児童・生徒送迎 バス輸送業務 (N:12月)	本校 3長期 インターコース 車種変更
随契	4.4.1 ～ 4.7.31	4.5.31 4.6.30 3.7.29 4.8.31 小計	2,415,600 2,415,600 2,415,600 2,415,600 9,662,400	通学 児童・生徒送迎 バス輸送業務 (N:4月)	本校 随契2号 (不適)
随契	4.8.17 ～ 4.12.31	4.9.30 4.10.31 4.11.30 4.12.27 5.1.31 小計	409,200 2,728,000 2,728,000 2,728,000 2,318,800 10,912,000	通学 児童・生徒送迎 バス輸送業務 (N:5月)	本校 随契2号 (不適)
随契	4.12.20 ～ 5.3.31	5.2.28 5.3.31 小計	2,318,800 2,591,600 4,910,400	通学 児童・生徒送迎 (N:3月)	本校 随契2号 (不適)
一般	2.8.6 ～ 5.7.31	累計金額 4.5.31 4.6.30 4.7.29 4.8.31 4.9.30 4.10.31 4.11.30 4.12.27 5.1.31 5.2.28 5.3.31 小計	(27,052,520) 1,391,282 1,391,282 1,391,282 1,391,282 1,391,282 1,391,282 1,391,282 1,391,282 1,391,282 1,391,282 1,391,282 15,304,102	学校給食業務 (N:12月)	本校 2長期 再調理業務の 開始
随契	4.6.7 ～ 4.8.31	4.8.5	26,400	廃プラスチック類等混合廃棄物の収集運搬業務 (N:フックロール8.0㎡×1台)	本校 随契1号 (少額)
随契	4.6.7 ～ 4.8.31	4.8.5	74,800	廃プラスチック類等混合廃棄物の処分業務 (N:フックロール8.0㎡×1台)	本校 随契1号 (少額)
随契	4.6.22 ～ 4.9.30	4.8.22	14,850	廃プラスチック類等混合廃棄物の収集運搬業務 (N:フックロール9.0㎡×1台)	本校 随契1号 (少額)
随契	4.6.22 ～ 4.9.30	4.8.22	84,150	廃プラスチック類等混合廃棄物の処分業務 (N:フックロール9.0㎡×1台)	本校 随契1号 (少額)
随契	4.7.20 ～ 4.9.30	4.8.22	16,500	廃プラスチック類等混合廃棄物の収集運搬業務 (N:フックロール10.0㎡×1台)	本校 随契1号 (少額)

委 託 料 に

整理 番号	委託業務名	受 託 者	当初設計金額	契約金額		
				当初額	変 増 減 更 額	計
11	産業廃棄物処分 業務	エコプラント 株式会社	74,800	74,800	18,700	93,500
12	産業廃棄物収集 運搬業務	エス・ライ ナー株式会社	13,200	13,200	0	13,200
13	産業廃棄物処分 業務	エコプラント 株式会社	74,800	74,800	0	74,800
14	産業廃棄物収集 運搬処分業務	株式会社エム エスケイ	272,800	260,700	0	260,700
15	産業廃棄物収集 運搬処分業務	株式会社リサ イクルクリー ン	220,000	220,000	0	220,000
16	産業廃棄物収集 運搬処分業務	株式会社リサ イクルクリー ン	272,800	272,800	0	272,800
17	産業廃棄物収集 運搬処分業務	株式会社リサ イクルクリー ン	220,000	220,000	0	220,000
18	産業廃棄物収集 運搬処分業務	株式会社エム エスケイ	220,000	215,600	0	215,600
19	不燃ごみ収集 運搬処分業務	株式会社三共	24,200	24,200	0	24,200
20	産業廃棄物収集 運搬処分業務	株式会社太洋 サービス	69,300	69,300	0	69,300
21	産業廃棄物収集 運搬処分業務	株式会社太洋 サービス	69,300	69,300	0	69,300
22	防鼠防虫業務	株式会社帝装 化成 浜松営業所	331,100	331,100	0	331,100
23	自動扉保守点検 業務	中日本オー ト・ドア株式 会社	23,980	23,980	0	23,980
	事務関係計	23件				
参考 1	警備業務	総合警備保障 株式会社静岡 支社	/	6,705,600	0	6,705,600

(令和4年度)

(令和5年3月31日現在)

関 する 調

契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
随契	4.7.20 ～ 4.9.30	4.8.22	93,500	廃プラスチック類等混合廃棄物の処分業務 (N:フックロール10.0㎡×1台)	本校 随契1号 (少額)
随契	4.7.21 ～ 4.9.30	4.8.31	13,200	廃プラスチック類等混合廃棄物の収集運搬業務 (N:フックロール8.0㎡×1台)	磐田分校 随契1号 (少額)
随契	4.7.21 ～ 4.9.30	4.8.31	74,800	廃プラスチック類等混合廃棄物の処分業務 (N:フックロール8.0㎡×1台)	磐田分校 随契1号 (少額)
随契	4.8.4 ～ 4.10.31	4.9.20	260,700	廃プラスチック類等混合廃棄物の収集運搬処分業務 (N:フックロール8.0㎡×2台)	本校 随契1号 (少額)
随契	4.8.1 ～ 4.10.31	4.11.4	220,000	廃プラスチック類等混合廃棄物の収集運搬処分業務 (N:フックロール8.0㎡×2台)	本校 随契1号 (少額)
随契	4.9.15 ～ 4.12.28	4.11.4	272,800	廃プラスチック類等混合廃棄物の収集運搬処分業務 (N:フックロール8.0㎡×2台)	本校 随契1号 (少額)
随契	4.11.2 ～ 5.2.28	5.1.26	220,000	廃プラスチック類等混合廃棄物の収集運搬処分業務 (N:フックロール8.0㎡×2台)	本校 随契1号 (少額)
随契	4.12.12 ～ 5.3.31	5.3.17	215,600	廃プラスチック類等混合廃棄物の収集運搬処分業務 (N:フックロール8.0㎡×2台)	本校 随契1号 (少額)
随契	4.4.13 ～ 5.3.31	4.5.31 4.6.30 4.7.29 4.8.31 4.10.31 4.11.30 4.12.27 5.1.31 5.2.28 5.3.31 小計	2,200 2,200 2,200 2,200 2,200 2,200 2,200 2,200 2,200 2,200 2,200 22,000	不燃ごみ収集運搬 処分業務 (N:11月×1回)	本校 随契1号 (少額)
随契	4.6.27 ～ 4.10.31	4.8.30	69,300	グリストラップ汚泥の 収集運搬処分業務 (N:グリストラップ汚泥800L×1式)	本校 随契1号 (少額)
随契	4.1.11 ～ 5.3.31	5.3.14	69,300	グリストラップ汚泥の 収集運搬処分業務 (N:グリストラップ汚泥800L×1式)	本校 随契1号 (少額)
随契	4.4.14 ～ 5.3.31	4.10.31	165,550	防鼠防虫(点検等) (N:12回) 防虫(薬剤散布) (N:2回)	浜松聴覚特別支援、浜松 視覚特別支援、浜名特別 支援、浜北特別支援、浜 松工業高校、浜名高校 随契1号(少額)
随契	4.4.21 ～ 5.3.31	4.7.29 4.10.31 5.1.31 小計	5,995 5,995 5,995 17,985	自動扉保守点検業務 (N:4回)	本校 磐田分校 随契1号 (少額)
			90,035,451		
	1.10.1 ～ 6.9.30			警備業務(N:12月)	浜松北高校 本校

委 託 料 に

整理 番号	委託業務名	受 託 者	当初設計金額	契約金額		
				当初額	変 増 減	更 額 計
参考 2	消防用設備等 保守点検業務	静岡県消防設 備保守点検業 協同組合		12,320,000	22,327	12,297,673
参考 3	自家用電気工作 物保安管理業務	遠鉄アシスト 株式会社		2,200,440	0	2,200,440
参考 4	可燃物収集運搬 処分業務	環境保全株式 会社		収集運搬料 @550円/回 処分料 @13.2円/kg	0	収集運搬料 @550円/回 処分料 @13.2円/kg
参考 5	プール浄化装置 保守点検業務	清化工業株式 会社		998,800	0	998,800
参考 6	定期点検業務	株式会社白柳 一級建築設計 事務所		3,905,000	0	3,905,000
参考 7	警備業務	総合警備保障 株式会社静岡 支社		17,166,600	0	17,166,600
参考 8	消防用設備等 保守点検業務	静岡県消防設 備保守点検業 協同組合		9,002,400	0	9,002,400
参考 9	可燃物収集運搬 処分業務	株式会社ハシ モト		収集運搬料 @5,775円/回 処分料 @17.6円/kg 収納容器料 @1,100円/月	0	収集運搬料 @5,775円/回 処分料 @17.6円/kg 収納容器料 @1,100円/月
参考 10	ガスヒートポン プ点検業務	ヤマザキ・ シー・エー株式 会社		5,148,000	0	5,148,000
参考 11	定期点検業務	株式会社創亜 開発		3,080,000	0	3,080,000
参考 12	警備業務	セコム株式 会社		10,164,000	0	10,164,000
参考 13	定期点検業務	有限会社山口 一級建築士事 務所		2,200,000	0	2,200,000
	計	13件				

(令和4年度)
(令和5年3月31日現在)

関 する 調

契約 締結 方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
	4.4.1 ～ 5.3.31			消防設備等保守点検業務 (機器1回) (機器・総合1回)	浜松商業高等学校 本校
	4.4.1 ～ 5.3.31			自家用電気工作物保安 管理業務 (月次点検 N:5月) (年次点検 N:1回)	浜松湖東高校 本校
	4.4.8 ～ 5.3.31			可燃物収集運搬処分 業務 (N:12月 218回)	浜松大平台高校 本校 単価契約
	4.4.8 ～ 4.11.30			プール浄化装置保守 点検業務 (N:2回)	浜松東高校 本校
	4.9.30 ～ 5.2.28			定期点検業務 (A:設備6,876.25㎡)	湖西高等学校 本校
	1.10.1 ～ 6.9.30			警備業務 (N:12月)	磐田南高校 磐田分校
	4.4.1 ～ 5.3.31			消防施設等点検業務 (機器1回) (機器・総合1回)	磐田農業高校 磐田分校
	4.4.12 ～ 5.3.31			可燃物収集運搬処分 業務 (N:12月 90回)	磐田西高校 磐田分校 単価契約
	4.6.21 ～ 4.12.23			ガスヒートポンプ 点検業務 (N:2回)	磐田南高等学校 磐田分校
	4.9.6 ～ 5.1.31			定期点検業務 (A:設備1,516.89㎡)	磐田南高等学校 磐田分校
	1.10.1 ～ 6.9.30			警備業務 (N:12月)	浜松工業高校 城北分校
	4.10.24 ～ 5.2.28			定期点検業務 (A:設備1,389.00㎡)	浜北西高等学校 城北分校

負担金支出調

0000232139 浜松特別支援学校

令和3年度

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	特別管理産業廃棄物責任者講習会負担金	公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター	産業廃棄物処理法第12条の2第8項	特別産業廃棄物管理責任者の資格取得	13,800	R 3. 5. 7
2	特別管理産業廃棄物責任者講習会負担金	公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター	産業廃棄物処理法第12条の2第8項	特別産業廃棄物管理責任者の資格取得	13,800	R 3. 6. 11
3	令和3年度東海地区特別支援学校知的障害教育校長会会費	東海地区特別支援学校知的障害教育校長会会長	東海地区特別支援学校知的障害教育校長会規約付則5	教育の充実・改善の推進及び教育上の調査・研究	5,000	R 3. 7. 21
4	令和3年度全国特別支援学校知的障害教育校長会会費	全国特別支援学校知的障害教育校長会	全国特別支援学校知的障害教育校長会会則第15条	学校の管理運営に関する調査・研究	10,000	R 3. 9. 24
	計	4件			42,600	

負担金支出調

0000232139 浜松特別支援学校

令和4年度

(令和5年3月31日現在)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	特別管理産業廃棄物責任者講習会負担金	公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター	産業廃棄物処理法第12条の2第8項	特別産業廃棄物管理責任者の資格取得	13,200	R 4. 6. 16
2	令和4年度東海地区特別支援学校知的障害教育校長会会費	東海地区特別支援学校知的障害教育校長会会長	東海地区特別支援学校知的障害教育校長会規約付則5	教育の充実・改善の推進及び教育上の調査・研究	5,000	R 4. 7. 8
3	令和4年度全国特別支援学校知的障害教育校長会会費	全国特別支援学校知的障害教育校長会	全国特別支援学校知的障害教育校長会会則第15条	学校の管理運営に関する調査・研究	11,000	R 4. 7. 13
	計	3件			29,200	

建 築

整理 番号	予算科目	工事名	工事箇所	当初設計 金額	契約金額	
					当初額	変更増減額
1	教育管理費	浜松特別支援学校 消防設備更新工事	浜松市南区江 之島町地内	429,000	429,000	0
2	教育管理費	浜松特別支援学校 食堂出入口修繕工 事	浜松市南区江 之島町地内	1,573,000	1,536,920	0
3	教育管理費	浜松特別支援学校 磐田分校校舎西階 段長尺シート更新 工事	磐田市西貝塚 地内	704,000	704,000	△ 209,000
	合計		3件	2,706,000	2,669,920	△ 209,000
1	(参考)	浜松北高等学校ほ か自動火災報知設 備更新工事	浜松市中区広 沢地内ほか	13,420,000	13,420,000	0
	合計		1件	13,420,000	13,420,000	0

工 事 調

(令和3年度)

計	契約締結方法	受注者	着手完成(予定)年月日	支出済額	工事概要	公有財産台帳	摘要
429,000	随契	日興電気通信株式会社	R3. 7. 1 R3. 8. 30	429,000	消防設備更新	-	R3. 7. 14 R3. 10. 1 随契1号 (少額)
1,536,920	随契	株式会社ニッ トーホーム	R4. 1. 13 R4. 3. 29	1,536,920	食堂建 具取替	-	R4. 1. 5 R4. 4. 28 随契1号 (少額)
495,000	随契	株式会社林工組	R4. 1. 31 R4. 3. 29	495,000	長尺 シート 張替	-	R4. 1. 21 R4. 4. 28 随契1号 (少額)
2,460,920				2,460,920			
13,420,000	入札	セルコ株式会社	R3. 12. 1 R4. 5. 31	13,420,000	消防設 備更新	-	本庁執行 (浜松土木 事務所)
13,420,000				13,420,000			

建 築

整理番号	予算科目	工事名	工事箇所	当初設計金額	契約金額	
					当初額	変更増減額
1	教育管理費	静岡県立浜松特別支援学校教室空調設備更新工事	浜松市南区江之島町地内	6,435,000	6,270,000	0
2	教育管理費	静岡県立浜松特別支援学校運動場西側柵修繕工事	浜松市南区江之島町地内	3,817,000	3,740,000	0
3	教育管理費	静岡県立浜松特別支援学校木工室床面修繕工事	浜松市南区江之島町地内	3,465,000	3,333,000	0
4	教育管理費	静岡県立浜松特別支援学校滑り台塗装工事	浜松市南区江之島町地内	2,343,000	2,310,000	0
5	教育管理費	静岡県立浜松特別支援学校厨房エアコン更新工事	浜松市南区江之島町地内	2,057,000	2,057,000	0
6	教育管理費	静岡県立浜松特別支援学校南校舎給水配管切り回し工事	浜松市南区江之島町地内	1,320,000	1,320,000	0
	合計		6件	19,437,000	19,030,000	0

工 事 調

(令和4年度)
(令和5年3月31日)

計	契約 締結 方法	受注者	着手 完成(予 定) 年月日	支出済額	工事 概要	公有 財産 台帳	摘要
6,270,000	指名	シンワ設備株式 会社	R5. 1. 12 R5. 3. 6	2,508,000	空調設 備更新	済	R4. 12. 6 前金R5. 2. 3 (R5. 4. 28)
3,740,000	指名	株式会社林工組	R5. 2. 3 R5. 3. 24		運動場 フェン ス張替	済	R5. 1. 12 (R5. 4. 28)
3,333,000	指名	株式会社ニッ トーホーム	R5. 1. 23 R5. 3. 23		フロー リング 等張替	-	R4. 12. 20 (R5. 4. 28)
2,310,000	随契	株式会社園田塗 装店	R4. 12. 23 R5. 3. 24		滑り台 塗装	-	R4. 12. 2 (R5. 4. 28) 随契1号 (少額)
2,057,000	随契	シンワ設備株式 会社	R4. 7. 28 R4. 9. 16	2,057,000	空調設 備更新	済	R4. 7. 15 R4. 10. 27 随契1号 (少額)
1,320,000	随契	シンワ設備株式 会社	R5. 1. 30 R5. 3. 1	1,320,000	給水配 管更新	-	R5. 1. 30 R5. 3. 24 随契5号 (緊急)
19,030,000				5,885,000			

公 有 財 産 調 (本校)

(令和4年度)

(令和5年3月31日)

区分	令和4年3月31日 現 在		増		減		令和5年3月31日 現 在		摘要
	数量又 は面積	台 帳 価 格	数量又 は面積	台 帳 価 格	数量又 は面積	台 帳 価 格	数量又 は面積	台 帳 価 格	
行政財産		千円 522,554		千円 8,263		千円 35,838		千円 494,979	
土地	m ² 16,551.18	265,032					m ² 16,551.18	265,032	
立木竹	本 85	1,497					本 85	1,497	
建物	m ² 3,425.41 7,012.12	97,911				22,961	m ² 3,425.41 7,012.12	74,950	
工作物	個 87	158,114	9	8,263	3	12,877	個 93	153,500	
公有財産 に準ずる もの		464		0		0		464	
電話 加入権	6	464					6	464	

様式第22号

公 有 財 産 調 (磐田)

(令和4年度)

(令和5年3月31日)

区分	令和4年3月31日 現 在		増		減		令和5年3月31日 現 在		摘要
	数量又 は面積	台 帳 価 格	数量又 は面積	台 帳 価 格	数量又 は面積	台 帳 価 格	数量又 は面積	台 帳 価 格	
行政財産		千円 49,739		千円 0		千円 7,098		千円 42,641	
建物	m ² 819.25 1,525.63	27,396				5,023	m ² 819.25 1,525.63	22,373	
工作物	個 11	22,343			0	2,075	個 11	20,268	
公有財産 に準ずる もの		80		0		0		80	
電話 加入権	1	80					1	80	

公 有 財 産 調 (城北)

(令和 4 年度)

(令和 5 年 3 月 31 日)

区分	令和4年3月31日 現 在		増		減		令和5年3月31日 現 在		摘要
	数量又 は面積	台 帳 価 格	数量又 は面積	台 帳 価 格	数量又 は面積	台 帳 価 格	数量又 は面積	台 帳 価 格	
行政財産		千円 167,305		千円 0		千円 8,697		千円 158,608	
建物	m ² 820.44 1,389.00	145,576			0	6,239	m ² 820.44 1,389.00	139,337	
工作物	個 15	21,729		0	0	2,458	個 15	19,271	
公有財産 に準ずる もの		30		0		0		30	
電話 加入権	1	30					1	30	

借地借家等調

(令和5年3月31日現在)

整理 番号	区分	種 別	所在地	地 目		数量又 は面積	借 料		契 約 期 間	所有者又 は契約者 氏名	用 途
				台帳	現 況		単 価	年 額			
1	土地	児童福祉 施設敷地	磐田市西 貝塚3577 - 1	宅地	学校 敷地	1,017.25		無償	R4.4.1 ～ R7.3.31	静岡県立 磐田学園 長	磐田分 校校舎 敷地
2	土地	児童福祉 施設敷地	磐田市西 貝塚3577 - 1	宅地	駐車場 敷地	695.00		無償	R4.4.1 ～ R7.3.31	〃	磐田分 校駐車 場敷地
3	土地	学校敷地	浜松市中 区住吉5 -16-1	宅地	学校 敷地	958.21		無償	R4.4.1～ R7.3.31	県立浜松 城北工業 高等学校 長	城北分 校校舎 敷地
4	土地	学校敷地	浜松市中 区住吉5 -16-1	宅地	倉庫 敷地	5.67		無償	R4.4.1～ R7.3.31	〃	城北分 校倉庫 敷地
5	土地	学校敷地	浜松市中 区住吉5 -16-1	宅地	駐車場 敷地	41.19		無償	R4.4.1 ～ R7.3.31	〃	城北分 校駐車 場敷地
6	土地	学校敷地	浜松市中 区住吉5 -16-1	宅地	倉庫 敷地	3.64		無償	R4.4.1 ～ R7.3.31	〃	城北分 校倉庫 敷地
小計						2,720.96		0			
7	建物	事務所建	浜松市南 区江之島 町1266- 2	軽量鉄 骨プレ ハブ造	校舎	307.91 534.79	324,000	3,888,000	H18.7.1 ～ R5.3.31	東海リー ス(株) 横浜支店	本校 校舎
	計							3,888,000			

余 白

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和4年度)
(令和5年3月31日現在)

区分	事業名 又は 契約名	内 容	契約額	(契約額の年度別内訳)									
				H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	
債務 負担 行為	仮設校舎 賃貸借契約	仮設校舎1棟 (契約日) 平成18年5月2日	円 89,130,000	円 24,150,000	円 3,780,000	円 3,780,000	円 3,780,000	円 3,780,000	円 3,780,000	円 3,780,000	円 3,780,000	円 3,780,000	円 3,780,000
	給食調理 (配膳) 業務委託	給食調理 (配膳) 業務 (契約日) 令和2年8月6日	49,313,038										
長期 継続 契約	通学バス 輸送業務 委託	通学バス輸送 業務 (契約日) 平成30年4月1日	177,341,596										
	通学バス 輸送業務 委託	通学バス輸送 業務 (契約日) 令和3年4月1日	162,511,596										

区分	事業名 又は 契約名	内 容	契約額	(契約額の年度別内訳)										
				H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度		
債務 負担 行為	仮設校舎 賃貸借契約	仮設校舎1棟 (契約日) 平成18年5月2日	円 89,130,000	円 3,780,000	円 3,780,000	円 3,780,000	円 3,888,000	円 3,888,000	円 3,888,000	円 3,888,000	円 3,888,000	円 3,888,000	円 3,888,000	円 3,960,000
	給食調理 (配膳) 業務委託	給食調理 (配膳) 業務 (契約日) 令和2年8月6日	49,313,038							10,821,008	16,231,512	16,695,384	5,565,134	
長期 継続 契約	通学バス 輸送業務 委託	通学バス輸送 業務 (契約日) 平成30年4月1日	177,341,596				57,468,528	59,549,375	60,323,693					
	通学バス 輸送業務 委託	通学バス輸送 業務 (契約日) 令和3年4月1日	162,511,626								59,278,628	51,616,488	51,616,510	

行政財産貸付・使用許可調

(令和5年3月31日 現在)

整理 番号	区 分	種 別	所在地	地 目		数量 又は 面積	貸付料又は 使 用 料		貸付又は 使用許可 期間	貸付又は使用 許可を受けた 者の氏名	貸付・ 使用許 可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	学校敷地	浜松市南区江之島町1266-2	学校敷地	学校敷地	電柱 4本	円 1,500	円 6,000	4.4.1 ～ 9.3.31	中部電気パワーグリッド株式会社浜松営業所長	電力供給用
2	土地	学校敷地	浜松市南区江之島町1266-2	学校敷地	学校敷地	支柱 1本	1,500	1,500	30.4.1 ～ 5.3.31	西日本電信電話株式会社静岡支店長	通信供給用
3	土地	学校敷地	浜松市南区江之島町1266-2	学校敷地	学校敷地	m ² 7.98		免除	4.4.1 ～ 5.3.31	浜松市長	公衆用
土地 小計								7,500			
4	建物	事務所建	浜松市中区住吉5丁目16-1	重量鉄造	校舎	m ² 208.8 208.8		無償	4.4.1 ～ 7.3.31	静岡県立浜松城北工業高等学校長	自動車整備実習室使用
5	建物	事務所建	磐田市西貝塚3577-1	軽重量鉄造	校舎	m ² 0.06 0.06		無償	2.9.1 ～ 5.3.31	静岡県立磐田学園長	監視カメラ設置
建築 小計								0			
合 計								7,500			

主 要 備 品 調

(令和5年3月31日現在)

整理番号	区 分		品 名 ・ 規 格	利 用 状 況	購 入 年 月	購 入 金 額
	大・中	小				
1	01-13	冷温水器	温水ボイラー	給食調理用 毎日使用(年間191日)	平成29.8	円 2,160,000
2	02-01	パーソナルコンピュータ(一式)	パソコン8台 カラーレーザープリンター1台 他	情報教育用 毎日使用(年間200日)	平成30.3	1,704,564
3	01-13	加熱器具	コンビオープン ACO-102GS	給食調理用 毎日使用(年間191日)	令和2.3	1,570,800
4	02-01	パーソナルコンピュータ(一式)	NAS1台 ノートパソコン6台 他	情報教育用 毎日使用(年間200日)	令和2.1	1,460,932
5	03-03	プロジェクター	プロジェクター	情報教育用 毎日使用(年間200日)	令和3.3	1,402,711
6	01-14	エアコンディショナー	ダイキン SSRH140BB (H) 天吊型 室外機耐重塩害仕様	7月～9月、12月～2月 毎日使用(年間80日)	平成30.3	1,393,200
7	02-01	パーソナルコンピュータ(一式)	NAS1台 ノートパソコン6台 他	情報教育用 毎日使用(年間200日)	令和2.1	1,381,336
8	01-13	食品食器洗浄機	自動食器洗浄機 W2200×D940×H1125	給食用 毎日使用(年間191日)	平成18.8	1,291,500
9	06-09	その他の木工用機器	軸斜傾線横挽丸鋸盤 鋸軸傾斜角度-1～46℃	木工実習授業用 週2回(年間85日)	平成10.2	1,203,300
10	10-08	その他の芸術用器具	陶芸用窯 プロパンガス用 W1570×D1120×H1450	陶芸授業用 年1回	昭和57.3	1,200,000
11	10-07	鍵盤楽器	ピアノ グランドピアノ	磐田分校授業用 毎日使用(年間200日)	平成11.11	1,183,000
12	06-09	木工用機械	自動一面かんな盤 削り幅・長さ400×250以上 刃物寸法 5×32×400以上	木工実習授業用 週2回(年間85日)	平成11.3	1,155,000
13	10-08	その他の芸術用器具	陶芸用電気窯 三相200V 耐火耐熱レンガ造り 最高使用温度 1300℃	陶芸実習授業用 週2回(年間85日)	平成10.12	1,155,000
14	02-02	放送装置	校内放送設備 Panasonic WL-SA211 他	本校用 毎日使用(年間300日)	令和4.3	1,053,800
15	10-08	その他の芸術用器具	陶芸用窯 プロパンガス用	磐田分校授業用 年1回	昭和63.10	980,000
16	01-14	エアコンディショナー	日立 RPC-AP140VM1	7月～9月、12月～2月 毎日使用(年間80日)	平成20.7	966,000
17	06-09	その他の木工用機器	集塵機 ムラコシ HM-5000	木工実習授業用 週2回(年間85日)	平成11.3	871,500
18	01-14	エアコンディショナー	日立 RPC-AP140VM1	7月～9月、12月～2月 毎日使用(年間80日)	平成20.7	819,000
19	01-14	エアコンディショナー	耐重塩害仕様 SSRH80BANT (H)	7月～9月、12月～2月 毎日使用(年間80日)	平成28.12	814,320
20	02-01	その他の情報処理機器	校内LANサーバー(一式)	毎日使用(年間365日)	平成21.7	793,800

事務事業及び予算の執行実績（別冊）
（令和4年度分）

静岡県立浜松特別支援学校

目 次

職員調	1
職員の年齢調	8
健康管理	9

職 員 調 (本 校)

(令和5年4月1日現在)

整理 番号	職 名	氏 名	事 務 分 担	住 所	勤 務 年 数		摘 要
1	校長	佐藤 徹	総括	□□□	□ 年	□ 月	□ □ □ □ □ □
2	副校長	山崎 かおる		□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
3	教頭	吉澤 奈々絵		□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
4	事務長	夏目 清美	事務総括	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
5	教諭	大石 守彦	高等部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
6	教諭	殿岡 正美	高等部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
7	教諭	渡邊 浩昭	高等部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
8	教諭	小嶋 真子	中学部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
9	教諭	山本 恭子	小学部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
10	教諭	山下 佳世子	高等部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
11	教諭	戸田 友子	中学部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
12	教諭	溝口 重行	高等部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
13	教諭	寺田 容子	小学部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
14	教諭	伊藤 卓宏	中学部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
15	教諭	山本 利依	中学部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
16	教諭	戸田 桂子	中学部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
17	教諭	高岡 克典	高等部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
18	教諭	日下部 由佳	高等部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
19	教諭	内田 律子	高等部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
20	教諭	神田 朋成	中学部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
21	教諭	鈴木 良江	小学部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
22	教諭	町田 佐智子	小学部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
23	教諭	杉浦 知香枝	高等部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
24	教諭	林 友紀	中学部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
25	教諭	永井 真知子	中学部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
26	教諭	犬塚 千裕	小学部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
27	教諭	奥五沢 恭子	小学部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
28	教諭	常盤 千栄	小学部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
29	教諭	小林 祥子	中学部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
30	教諭	大澤 和俊	小学部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
31	教諭	鈴木 里美	小学部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
32	教諭	西澤 智幸	高等部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
33	教諭	小野 緑	中学部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
34	教諭	森高 陽子	高等部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
35	教諭	桑原 章成	高等部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
36	教諭	緒方 香織	高等部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
37	教諭	下出 沙織	高等部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
38	教諭	西口 園子	小学部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
39	教諭	鈴木 隼人	高等部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
40	教諭	余吾 美由紀	小学部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
41	教諭	山村 華奈	小学部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □

整理 番号	職 名	氏 名	事 務 分 担	住 所	勤 務 年 数	摘 要
42	教諭	正木 真里	高等部	□□□	□ □	□ □ □ □ □ □
43	教諭	村松 宏樹	高等部	□□□	□ □	□ □ □ □ □ □
44	教諭	野末 麻希	中学部	□□□	□ □	□ □ □ □ □ □
45	教諭	市川 美沙登	中学部	□□□	□ □	□ □ □ □ □ □
46	教諭	青嶋 真由美	高等部	□□□	□ □	□ □ □ □ □ □
47	教諭	金森 誠	高等部	□□□	□ □	□ □ □ □ □ □
48	教諭	早津 あすか	小学部	□□□	□ □	□ □ □ □ □ □
49	教諭	夏目 奈菜子	小学部	□□□	□ □	□ □ □ □ □ □
50	教諭	河原崎 加織	小学部	□□□	□ □	□ □ □ □ □ □
51	教諭	谷川 万理	中学部	□□□	□ □	□ □ □ □ □ □
52	教諭	鴨下 大祐	高等部	□□□	□ □	□ □ □ □ □ □
53	教諭	田中 藍	小学部	□□□	□ □	□ □ □ □ □ □
54	教諭	飯尾 友佳子	小学部	□□□	□ □	□ □ □ □ □ □
55	教諭	小倉 雄太	高等部	□□□	□ □	□ □ □ □ □ □
56	教諭	寺田 知子	小学部	□□□	□ □	□ □ □ □ □ □
57	教諭	平田 岳	高等部	□□□	□ □	□ □ □ □ □ □
58	教諭	石津 直哉	高等部	□□□	□ □	□ □ □ □ □ □
59	教諭	竹村 美穂	小学部	□□□	□ □	□ □ □ □ □ □
60	教諭	早川 香奈子	中学部	□□□	□ □	□ □ □ □ □ □
61	教諭	岡本 温巳	小学部	□□□	□ □	□ □ □ □ □ □
62	教諭	杉浦 健太	高等部	□□□	□ □	□ □ □ □ □ □
63	教諭	川合 瑠実	高等部	□□□	□ □	□ □ □ □ □ □
64	教諭	五十嵐 育子	小学部	□□□	□ □	□ □ □ □ □ □
65	教諭	國塚 茜	小学部	□□□	□ □	□ □ □ □ □ □
66	教諭	櫻井 里実	小学部	□□□	□ □	□ □ □ □ □ □
67	教諭	小林 勇太	高等部	□□□	□ □	□ □ □ □ □ □
68	教諭	望月 里紗	小学部	□□□	□ □	□ □ □ □ □ □
69	教諭	河合 梨紗	小学部	□□□	□ □	□ □ □ □ □ □
70	教諭	土井 喜一	高等部	□□□	□ □	□ □ □ □ □ □
71	教諭	山田 洸	小学部	□□□	□ □	□ □ □ □ □ □
72	教諭	鈴木 絵里加	中学部	□□□	□ □	□ □ □ □ □ □
73	教諭	大城 恵理	小学部	□□□	□ □	□ □ □ □ □ □
74	教諭	小島 佑太	高等部	□□□	□ □	□ □ □ □ □ □
75	教諭	矢野 幸二郎	小学部	□□□	□ □	□ □ □ □ □ □
76	教諭	村松 莉菜	小学部	□□□	□ □	□ □ □ □ □ □
77	教諭	坂口 和音	高等部	□□□	□ □	□ □ □ □ □ □
78	教諭	岸田 健太郎	小学部	□□□	□ □	□ □ □ □ □ □
79	教諭	鈴木 真未	小学部	□□□	□ □	□ □ □ □ □ □
80	教諭	吉田 悠太	小学部	□□□	□ □	□ □ □ □ □ □
81	教諭	山田 陽太	小学部	□□□	□ □	□ □ □ □ □ □
82	教諭	浅井 岬	高等部	□□□	□ □	□ □ □ □ □ □
83	教諭	白柳 真理	小学部	□□□	□ □	□ □ □ □ □ □

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数		摘要
84	教諭	延本 奨	小学部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
85	教諭	西橋 大祐	中学部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
86	教諭	齋藤 紘輝	高等部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
87	教諭	友田 史織	高等部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
88	教諭	赤堀 友華	小学部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
89	教諭	那須野 佳奈	中学部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
90	教諭	富田 美咲	小学部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
91	教諭	和田 隼輝	小学部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
92	教諭	今田 若奈	小学部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
93	教諭	杉本 歩	高等部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
94	教諭	山梨 菜穂子	小学部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
95	教諭	西山 紗季	小学部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
96	教諭	森下 直彦	小学部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
97	教諭	木田 祐佳	小学部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
98	教諭	宮地 夏実	小学部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
99	教諭	井上 陽介	高等部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
100	教諭	赤池 深雪	高等部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
101	教諭	村松 謙輝	小学部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
102	教諭	曾根 実咲	小学部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
103	教諭	早田 真穂	中学部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
104	教諭	松浦 ひめの	高等部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
105	教諭	古谷 拓真	中学部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
106	教諭	平 友葵	小学部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
107	教諭	田島 侑真	高等部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
108	教諭	三瓶 侑哉	中学部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
109	教諭	曾根 綾乃	小学部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
110	教諭	中村 優花	小学部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
111	教諭	横井 菜摘	小学部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
112	教諭	野坂 和貴	小学部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
113	教諭	山本 文夏	小学部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
114	教諭	市原 摩弥	小学部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
115	教諭	伊藤 歩	小学部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
116	教諭	伊藤 果生	中学部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
117	教諭	内山 聖那	小学部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
118	教諭	刑部 有紀	小学部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
119	教諭	松尾 開	小学部	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
120	養護教諭	豊岡 真由美	養護	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
121	養護教諭	古山 佑梨	養護	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
122	栄養教諭	瀧谷 咲月	給食	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
123	主査	中村 雅子	会計	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
124	主査	深津 良太	会計	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
125	主任	政本 菜里	施設管財	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
126	技能長	鈴木 隆彦	用務	□□□	□	□	□ □ □ □ □ □
平均勤務年数					□年	□月	

整理 番号	職 名	氏 名	事 務 分 担	住 所	勤務年数		摘 要
					年	月	
1	教諭（臨）	山本 久美子	高等部	□ □ □	□ 年	□ 月	□□□□□□
2	教諭（臨）	田邊 綾乃	小学部	□ □ □	□	□	□□□□□□
3	教諭（任）	浅村 多希	小学部	□ □ □	□	□	□□□□□□
4	教諭（任）	古池 勇介	高等部	□ □ □	□	□	□□□□□□
5	教諭（任）	鈴木 愛乃	小学部	□ □ □	□	□	□□□□□□
6	教諭（臨）	高橋 恭子	中学部	□ □ □	□	□	□□□□□□
7	教諭（任）	辻 七緒子	中学部	□ □ □	□	□	□□□□□□
8	教諭（臨）	御室 博臣	中学部	□ □ □	□	□	□□□□□□
9	教諭（臨）	藤田 洸平	小学部	□ □ □	□	□	□□□□□□
10	教諭（臨）	村松 大輔	小学部	□ □ □	□	□	□□□□□□
11	教諭（任）	伊藤 佑輔	中学部	□ □ □	□	□	□□□□□□
12	教諭（臨）	山本 寛人	小学部	□ □ □	□	□	□□□□□□
13	教諭（臨）	杉浦 真由海	高等部	□ □ □	□	□	□□□□□□
14	教諭（任）	鈴木 佳奈	小学部	□ □ □	□	□	□□□□□□
15	教諭（任）	松本 祐輔	中学部	□ □ □	□	□	□□□□□□
16	教諭（任）	高橋 正人	高等部	□ □ □	□	□	□□□□□□
17	教諭（任）	深澤 菜月	小学部	□ □ □	□	□	□□□□□□
18	教諭（臨）	鈴木 亮子	中学部	□ □ □	□	□	□□□□□□
19	教諭（臨）	中原 萌	高等部	□ □ □	□	□	□□□□□□
20	教諭（臨）	大石 悠史	高等部	□ □ □	□	□	□□□□□□
21	教諭（臨）	富田 ひばり	中学部	□ □ □	□	□	□□□□□□
22	任期付短時間 勤務教職員	野末 光希	小学部	□ □ □	□	□	□□□□□□
23	栄養教諭	棚田菜名子	給食	□ □ □	□	□	□□□□□□
24	会計年度任用職員 (スクールカウンセラー)	高木 紀子	スクール カウンセラー	□ □ □	□	□	□□□□□□
25	会計年度任用職員 (非常勤労務職員)	岡田 智美	用 務	□ □ □	□	□	□□□□□□
26	会計年度任用職員 (非常勤労務職員)	鈴木 恵子	スクールバス介 助	□ □ □	□	□	□□□□□□
27	会計年度任用職員 (非常勤労務職員)	幸地 洋子	スクールバス介 助	□ □ □	□	□	□□□□□□
28	会計年度任用職員 (非常勤労務職員)	大庭 正則	スクールバス介 助	□ □ □	□	□	□□□□□□
29	会計年度任用職員 (非常勤労務職員)	永井多喜代	スクールバス介 助	□ □ □	□	□	□□□□□□
30	会計年度任用職員 (非常勤労務職員)	田中正孝	スクールバス介 助	□ □ □	□	□	□□□□□□
31	会計年度任用職員 (非常勤労務職員)	市村 淳子	スクールバス介 助	□ □ □	□	□	□□□□□□

整理 番号	職 名	氏 名	事 務 分 担	住 所	勤務年数	摘 要
32	会計年度任用職員 (非常勤労務職員)	服 部 誠 治	スクールバス介 助	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	□□□□□□
33	会計年度任用職員 (非常勤労務職員)	高 間 通 雄	コロナ対策業務 員	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	□□□□□□
34	会計年度任用職員 (非常勤労務職員)	山 本 修 司	コロナ対策業 務員	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	□□□□□□
35	会計年度任用職員 (非常勤労務職員)	大 塚 千 草	コロナ対策業 務員	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	□□□□□□
36	非 常 勤 嘱 託 員	三 浦 明 義	実 習 支 援 員	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	□□□□□□
37	学 校 医	次 木 稔	内 科	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	□□□□□□
38	学 校 医	朝 岡 真	眼 科	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	□□□□□□
39	学 校 医	藤 森 俊 也	耳 鼻 科	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	□□□□□□
40	学 校 医	大 嶋 正 浩	精 神 科	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	□□□□□□
41	学 校 医	鈴 木 一	歯 科	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	□□□□□□
42	学 校 医	牛 田 健 二 郎	歯 科	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	□□□□□□
43	薬 剂 師	永 島 崇 志	学 校 薬 剂 師	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	□□□□□□
44	健 康 管 理 医	鈴 木 保 孝	健 康 管 理 医	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	□□□□□□

職 員 調 (磐田分校)

(令和5年4月1日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数		摘要
1	副校長	飯田 由美	総括補助	□□□	□年	□月	□□□□□□
2	教諭	杉山 晴美	小学部主事	□□□	□	□	□□□□□□
3	教諭	木本 嘉	中学部	□□□	□	□	□□□□□□
4	教諭	湯本 範子	中学部	□□□	□	□	□□□□□□
5	教諭	山梨 真理	中学部	□□□	□	□	□□□□□□
6	教諭	池野 明広	小学部	□□□	□	□	□□□□□□
7	教諭	飯田 佳代	小学部	□□□	□	□	□□□□□□
8	教諭	明田 陽子	中学部主事	□□□	□	□	□□□□□□
9	教諭	浅原 加奈	小学部	□□□	□	□	□□□□□□
10	教諭	植平 大介	小学部	□□□	□	□	□□□□□□
11	教諭	横石 真愛	小学部	□□□	□	□	□□□□□□
12	教諭	剣持 香澄	中学部	□□□	□	□	□□□□□□
13	教諭	村松 盛	中学部	□□□	□	□	□□□□□□
14	教諭	大坪 梨奈	中学部	□□□	□	□	□□□□□□
15	教諭	片田 達也	中学部	□□□	□	□	□□□□□□
16	教諭	太田 大貴	小学部	□□□	□	□	□□□□□□
17	教諭	河村 暁広	小学部	□□□	□	□	□□□□□□
18	教諭	高林 悠	小学部	□□□	□	□	□□□□□□
19	養護教諭	上村 亜紀子	養護	□□□	□	□	□□□□□□
20	主事	伊藤 尚成	就学奨励費	□□□	□	□	□□□□□□
平均勤務年数					□年	□月	

磐田分校臨時職員

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数		摘要
1	教諭(臨)	野澤 徹哉	中学部	□□□	□年	□月	□□□□□□
2	教諭(臨)	鈴木 里美	小学部	□□□	□	□	□□□□□□
3	教諭(任)	岩崎 智子	小学部	□□□	□	□	□□□□□□
4	会計年度任用職員 (非常勤労務職員)	小野 美香	用務	□□□	□	□	□□□□□□
5	会計年度任用職員 (非常勤労務職員)	安藤 千香子	コロナ対策業務員	□□□	□	□	□□□□□□
6	学校医	小澤 龍司	内科・健康管理医	□□□	□	□	□□□□□□
7	学校医	大石 恵理子	眼科	□□□	□	□	□□□□□□
8	学校医	梅原 潤一	耳鼻科	□□□	□	□	□□□□□□
9	学校医	山名 純一	精神科	□□□	□	□	□□□□□□
10	学校医	吉田 充	歯科	□□□	□	□	□□□□□□
11	薬剤師	青野 由三	学校薬剤師	□□□	□	□	□□□□□□

職 員 調 (城北分校)

(令和5年4月1日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数		摘要
1	副校長	三上 英	総括補助	□□□	□年	□月	□□□□□□
2	教諭	高木 徹也	高等部	□□□	□	□	□□□□□□
3	教諭	鈴木 太	高等部	□□□	□	□	□□□□□□
4	教諭	山本 諭	高等部	□□□	□	□	□□□□□□
5	教諭	今井 真砂美	高等部	□□□	□	□	□□□□□□
6	教諭	五十嵐 正広	高等部主事	□□□	□	□	□□□□□□
7	教諭	尾関 香	高等部	□□□	□	□	□□□□□□
8	教諭	松井 智恵	高等部	□□□	□	□	□□□□□□
9	教諭	清水 純子	高等部	□□□	□	□	□□□□□□
10	教諭	高塚 紳宏	高等部	□□□	□	□	□□□□□□
11	教諭	伊藤 晴美	高等部	□□□	□	□	□□□□□□
12	教諭	石井 美奈	高等部	□□□	□	□	□□□□□□
13	教諭	山岸 遼侑	高等部	□□□	□	□	特支二(知肢)
14	教諭	萩田 由衣	高等部	□□□	□	□	特支二(知肢) 特別休暇等 H31.3.13~R6.3.31
15	教諭	田村 俊樹	高等部	□□□	□	□	高一
16	教諭	池ヶ谷 翔	高等部	□□□	□	□	特支二(知肢)
17	教諭	根木 麻織	高等部	□□□	□	□	特支二(知肢)
18	養護教諭	村松 麻実	高等部	□□□	□	□	養護教諭一種
19	主任	井上 あゆ美	就学奨励費	□□□	□	□	会計事務職員R4.4.1(通算7年)
平均勤務年数					□年	□月	

城北分校臨時職員

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数		摘要
1	教諭(任)	五十嵐 恵	高等部	□□□	□年	□月	□□□□□□
2	教諭(臨)	石津 彩子	高等部	□□□	□	□	□□□□□□
3	会計年度任用職員 (非常勤労務職員)	鈴木 由紀	用務	□□□	□	□	□□□□□□
4	学校医	鈴木 保孝	内科・健康管理医	□□□	□	□	□□□□□□
5	学校医	畠山 眞行	眼科	□□□	□	□	□□□□□□
6	学校医	鳥居 智子	耳鼻科	□□□	□	□	□□□□□□
7	学校医	大嶋 正浩	精神科	□□□	□	□	□□□□□□
8	学校医	小澤 仁	歯科	□□□	□	□	□□□□□□
9	薬剤師	澤田 由紀子	学校薬剤師	□□□	□	□	□□□□□□

職員の年齢調

(令和5年4月1日現在)

年 齢	人 員				摘 要
	本 校	磐田分校	城北分校	全 体	
20歳未満	人 0	人 0	人 0	人 0	
20歳以上30歳未満	28	2	2	32	
30歳以上40歳未満	45	7	7	59	
40歳以上50歳未満	28	5	5	38	
50歳以上56歳未満	16	3	2	21	
56歳以上61歳未満	9	3	3	15	城北分校 再任用職員 1名
61歳以上	0	0	0	0	
計	126	20	19	165	
平均年齢	38.5	41.9	41.4	39.2	

健康管理（本校）

1 前年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 119 人
	職員数 125 人
受 診 率	100 %
県平均受診率	100 %

(1) 未受診の理由
□人 □□□□□□

(注) 1 前年度末日現在在籍している職員について記載する。

2 受診率算定に当たっては、休職・特休中、育休・産休・妊娠中、治療中及び海外派遣中等の職員は、算定の対象から除く。

2 本年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療	人
B 2		要経過観察	人
C 1	勤務をほぼ平常に行つてよいが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療	人
C 2		要経過観察	人
D 1	平常の勤務でよい。	要 治 療	14 (14) 人
D 2		要経過観察	24 (24) 人
D 3		医 療 不 要	79 (79) 人
区 分 者 計			117 (117) 人
未区分者数			9 (9) 人
合 計			126 (126) 人

(1) 管理区分 A～C 2 該当者に対する措置状況

(2) 未区分の理由
ア □□□□□□ □人
イ □□□□□□ □人
ウ □□□□□□ □人
エ □□□□□□
() □人

(注) 1 健康管理区分結果は、調書調製日現在在籍している職員（様式第 2 号－2 の記載対象者と同じ。）について記載する。

2 本年度の健康管理区分結果が出ていない職員については、前年度の結果を記載し、() 書きで再掲する。

3 前年度に市町等へ派遣されていた職員等は、派遣先等の健康診断結果等に基づき、該当箇所に記載する。

4 本様式は別冊とする。

5 警察署は、「D 3」と「区分者計」の間に「区分なし」を追加して記載する。

健康管理（磐田分校）

1 前年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 19 人
	職員数 19 人
受 診 率	100 %
県平均受診率	100 %

(1) 未受診の理由

(注) 1 前年度末日現在在籍している職員について記載する。

2 受診率算定に当たっては、休職・特休中、育休・産休・妊娠中、治療中及び海外派遣中等の職員は、算定の対象から除く。

2 本年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療	人
B 2		要経過観察	人
C 1	勤務をほぼ平常に行っているが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療	人
C 2		要経過観察	人
D 1	平常の勤務でよい。	要 治 療	4(4)人
D 2		要経過観察	7(7)人
D 3		医 療 不 要	8(8)人
区 分 者 計			19(19)人
未 区 分 者 数			1(1)人
合 計			20(20)人

(1) 管理区分 A～C 2 該当者に対する措置状況

(2) 未区分の理由

ア 人
 イ 人
 ウ 人
 エ 人
 () 人

(注) 1 健康管理区分結果は、調書調製日現在在籍している職員（様式第 2 号－2 の記載対象者と同じ。）について記載する。

2 本年度の健康管理区分結果が出ていない職員については、前年度の結果を記載し、() 書きで再掲する。

3 前年度に市町等へ派遣されていた職員等は、派遣先等の健康診断結果等に基づき、該当箇所に記載する。

4 本様式は別冊とする。

5 警察署は、「D 3」と「区分者計」の間に「区分なし」を追加して記載する。

健康管理（城北分校）

1 前年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 20 人
	職員数 20 人
受 診 率	100 %
県平均受診率	100 %

(1) 未受診の理由

(注) 1 前年度末日現在在籍している職員について記載する。

2 受診率算定に当たっては、休職・特休中、育休・産休・妊娠中、治療中及び海外派遣中等の職員は、算定の対象から除く。

2 本年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療	人
B 2		要経過観察	人
C 1	勤務をほぼ平常に行つてよいが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療	人
C 2		要経過観察	人
D 1	平常の勤務でよい。	要 治 療	5 (5) 人
D 2		要経過観察	8 (8) 人
D 3		医 療 不 要	6 (6) 人
区 分 者 計			19 (19) 人
未区分者数			0 (0) 人
合 計			19 (19) 人

(1) 管理区分 A～C 2 該当者に対する措置状況

(2) 未区分の理由

ア 人
 イ 人
 ウ 人
 エ
 () 人

(注) 1 健康管理区分結果は、調書調製日現在在籍している職員（様式第 2 号－2 の記載対象者と同じ。）について記載する。

2 本年度の健康管理区分結果が出ていない職員については、前年度の結果を記載し、() 書きで再掲する。

3 前年度に市町等へ派遣されていた職員等は、派遣先等の健康診断結果等に基づき、該当箇所に記載する。

4 本様式は別冊とする。

5 警察署は、「D 3」と「区分者計」の間に「区分なし」を追加して記載する。